

令和5年度

事業報告

日本赤十字社富山県支部

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

ごあいさつ

富山県民の皆様並びに地区分区をはじめとする関係者の皆様には、日頃から赤十字事業に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本赤十字社は、赤十字の基本原則に基づき、支援を必要とする人々に広く博愛の手を届けるべく、国内外において様々な人道活動を積極的に展開しております。

さて、本年元日に発生しました令和6年能登半島地震は、富山県においても観測史上初めて震度5強を記録する大地震となり、県内各地域においては、液状化現象の発生等により多くの住宅が被害を受けました。被災されました県民の方々には心よりお見舞いを申し上げます。

富山県支部では、発災直後からいち早く救護活動を開始し、県内の被災市へ毛布などの救援物資の提供や赤十字奉仕団による非常炊き出しなど避難所支援を行い、石川県に対しては、医療救護班等の派遣や救援物資を提供するなど被災者支援活動を行いました。また、全国の支部や施設が連携し、日本赤十字社の総力を挙げて、救護・支援要員の派遣、ニーズに沿った救援物資の提供、義援金の受付など常に被災者に寄り添う支援を続けてまいりました。

そして、世界では2年以上続くウクライナ人道危機、昨年10月に起こったイスラエル・ガザ人道危機など、なおその終わりが見えません。これらの人道危機により苦しむ人々への支援も国際赤十字が一丸となり引き続き行われており、日本赤十字社においても、救援金の募集や要員派遣などの支援活動を続けています。

富山県支部では引き続き、災害時の救護活動がしっかり行えるよう訓練や装備の充実に努めるとともに、救急法等の講習普及、赤十字奉仕団や青少年赤十字など、赤十字事業の促進を図っています。

また、患者さんにやさしく地域医療に貢献する医療事業や安全な血液の安定供給をめざした血液事業、安全で安心できる家庭的な養育を行う社会福祉事業などの着実な実施に努めています。

これらの赤十字事業の推進に必要な事業資金につきましては、社会経済情勢は厳しい状況にありますが、地区分区、自治振興会、町内会、奉仕団、有功会をはじめ、多くの県民の皆様方の一方ならぬご尽力によりまして目標を達成することができました。

ここに令和5年度の事業報告をお届けするにあたり、関係各位のご支援ご協力に重ねて感謝申し上げます。

日本赤十字社富山県支部では、今後とも、地域社会のニーズに即した赤十字活動を推進し、県民の皆様の期待に応えて参りたいと存じますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

日本赤十字社富山県支部

支部長 新 田 八 朗

目 次

1 評議員会等の開催	1
(1) 評 議 員 会	1
(2) 監 査	1
2 災 害 救 護	2
(1) 国 内 の 災 害	2
(2) 新型コロナウイルス感染に対する対応	10
(3) 救護班等の編成と救護要員の研修	11
(4) 救 護 訓 練	12
(5) 救護資材の整備	13
(6) 災害救援車の配備	14
(7) 救援物資の備蓄と交付	15
(8) 臨 時 救 護	16
(9) 防 災 教 育 事 業	16
(10) 海 浜 救 護	17
(11) 救護資材の貸し出し	17
(12) 災害義援金・救援金受付状況	18
3 赤十字救急法等の講習	19
(1) 救 急 法	19
(2) 水 上 安 全 法	22
(3) 健康生活支援講習	24
(4) 幼 児 安 全 法	26
4 赤十字奉仕団	29
(1) 赤十字奉仕団結成状況	29
(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員	31
(3) 主な奉仕団関係行事	32
(4) 奉仕団活動内容	34
(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰	35
5 青少年赤十字	36
(1) 青少年赤十字加盟状況	37
(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員	39
(3) 講習会等の開催	39
(4) 青少年赤十字活動実践校	40
(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団	41
(6) 青少年赤十字指導講師	41
(7) 青少年赤十字防災教育事業	41
6 社会福祉活動	42
(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動	42
(2) 身体障害者への援護	42
7 救護看護師の養成	43
(1) 日本赤十字豊田看護大学	43
8 国 際 活 動	43
9 医 療 事 業	45
(1) 富山赤十字病院	45
(2) 富山赤十字訪問看護ステーション	46
(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター	46
(4) 富山赤十字ケアプラン事業所	47
(5) 患者支援センター	47

10 血液事業	48
(1) 令和5年度実績の概要	48
(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査の変更	48
(3) 献血WEB会員サービス「ラブブラッド」の募集	49
11 社会福祉事業	50
(1) 児童福祉施設	50
12 会員の増強と社資の確保	51
(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及	51
(2) 会員の増強	51
(3) 地区分区との協力体制の強化	52
(4) 企業とのパートナーシップ	52
(5) 遺贈寄付に関する協定締結	52
(6) 遺贈・相続財産の寄付セミナーの開催	53
(7) 社資功労感謝状伝達式	53
(8) 富山県赤十字有功会総会	53
(9) 全国赤十字大会	54
(10) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会	54
(11) 社資の募集実績	54
13 赤十字思想の普及	56
(1) 事業を通じての広報	56
(2) マスコミを通じての広報	56
(3) 刊行物等による広報	56
(4) 広報視聴覚資材一覧	57
14 支部・施設間の連絡調整	57
15 日本赤十字社富山県支部役員名簿	58
16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧	59
資料Ⅰ 地区分区分別 活動状況	
17 救護装備品配備状況	62
18 令和5年度地区・分区救援物資分置状況	63
19 救援物資交付状況	64
20 令和5年度講習実績一覧表	65
21 赤十字奉仕団活動一覧	70
資料Ⅱ 決算概要	
(1) 令和5年度一般会計歳入歳出決算説明書	82
(2) 令和5年度医療施設特別会計決算説明書	83
(3) 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書	85

1 評議員会等の開催

評議員会等の開催状況は、次のとおりであり、各議案異議なく承認された。

(1) 評 議 員 会

ア 第1回支部評議員会

(ア) 期 日 令和5年6月10日

(イ) 場 所 ANA クラウンプラザホテル富山

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和4年度支部事業報告について

第2号議案 令和4年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について

(エ) 報 告 富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院の近況について

イ 第2回支部評議員会

(ア) 期 日 令和6年2月6日

(イ) 場 所 ANA クラウンプラザホテル富山

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和6年度支部事業計画について

第2号議案 令和6年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算並びに血液事業計画について

(エ) そ の 他 富山赤十字病院、受託富山県立乳児院の近況について
令和6年能登半島地震災害にかかる日本赤十字社の対応等について

(2) 監 査

ア 期 日 令和5年6月2日

イ 場 所 富山赤十字病院

ウ 監査委員 笹原 靖直、三條 孝順

エ 監査内容 令和4年度日本赤十字社富山県支部、富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院における業務の運営及び支部一般会計、医療施設特別会計、社会福祉施設特別会計の歳入歳出決算に係る監査が行われた。

2 災 害 救 護

日本赤十字社は、災害救助法や災害対策基本法に基づき国が行う災害救助に協力することが義務づけられている。災害発生時には、その規模等に応じて各県支部、施設と連携して救護活動を行うとともに、日頃から、いつ、どのような災害が発生しても迅速に出動できるよう救護員の確保や救護訓練をはじめ、救護装備・資材の整備、救援物資の備蓄等を行っている。

令和5年度は、国内において大雨や台風、地震、土砂災害による災害が発生し、各地で多くの被害を受けた。国外においても地震や洪水が発生した。富山県支部では、下記のとおり災害への対応及び義援金や救援金の募集を行った。

(1) 国内の災害

ア 令和5年6月29日からの大雨による災害及び令和5年7月7日からの大雨による災害

活発な梅雨前線の影響で令和5年6月29日から7月末日の長期間にわたり、東北地方から九州地方にかけて大雨となり、河川の氾濫等による浸水被害や土砂災害が相次ぎ、多くの被害をもたらした。富山県内においても富山市、高岡市等で床上浸水などの被害があった。

日本赤十字社では、発災直後から被災地へ職員を派遣し、被害状況や支援ニーズ等の情報収集を行ったうえで、救護班の派遣、救援物資の配布の他、看護師等による避難所の環境改善に向けた取り組みや被災者宅への巡回、ホットタオルを用いたリラクゼーション、ボランティアの健康管理などを実施した。

また、赤十字奉仕団を中心に避難所での炊き出しや健康生活支援活動、被災地域に開設されたボランティアセンターの運営支援、浸水被害により被災した住宅の片づけ、土砂の撤去等、被災地のニーズに沿ったボランティア活動を実施した。

1. 日本赤十字社の活動

- | | |
|-------------------|-----|
| 1) 救護班、看護師等派遣 | 41名 |
| 2) 災害医療コーディネートチーム | 12名 |
| 3) こころのケア要員 | 37名 |

2. 富山県支部の活動

1) 富山県災害対策本部員会議へ職員派遣

派遣期間 7月13、14、19日
活動場所 富山県防災危機管理センター
活動内容 情報収集
派遣職員 坂井 繁之

2) 救援物資搬送（床上浸水による被災世帯へ交付）

搬送日 7月13日
物資名 緊急セット50個、タオル1500枚、石鹸50個
搬送先 高岡市

搬送日 7月14、19日
物資名 緊急セット30個、タオル600枚、石鹸30個
搬送先 富山市

3) 赤十字奉仕団の活動

・立山町赤十字奉仕団

活動日 6月29日
活動場所 立山町立谷口公民館
活動内容 炊き出し実施（70食）

イ 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源としたマグニチュード7.6の地震が発生し、この地震で多くの建物が倒壊し、火災も相次ぐなど、石川県を中心に甚大な被害をもたらした。富山県においても、津波警報が発令されるとともに液状化による住宅被害等が多発した。

日本赤十字社では、発災直後から被災地へ職員を派遣し、被害状況や支援ニーズ等の情報収集を行うとともに、被災者へ毛布などの救援物資の配布を行った。

また、医療救護班や災害医療コーディネートチーム等を派遣し、被災者救援のため、全国の赤十字や関係機関と力を合わせ全力で活動にあたった。

1. 日本赤十字社の活動

- | | |
|---------------------|------|
| 1) 救護班 (DMAT 含む) 派遣 | 342班 |
| 2) 災害医療コーディネートチーム | 119班 |
| 3) こころのケア班 | 44班 |
| 4) 支部支援要員 | 68名 |

2. 富山県支部の活動

1) 救護班・DMAT 派遣

・第1班

派遣期間	1月2日～4日
活動場所	輪島市
活動内容	患者搬送
班 員	医 師 渡邊 和英 看護師長 長枝 智子 看 護 師 鎬木 清美、和泉 昌吾 主 事 徳堂 杏祐、上田 永子

・第2班

派遣期間	1月8日～11日
活動場所	珠洲市
活動内容	避難所巡回診療
班 員	医 師 若林 祐介、瀬尾 僚太 看護師長 板倉有希子 看 護 師 水野 伸也、朝倉裕美子 主 事 齋 拓斗、富澤 幸伸

・第3班

派遣期間	1月13日～16日
活動場所	珠洲市
活動内容	避難所巡回診療、救護所診療
班 員	医 師 仲岡佐智子、奥村 秀生

看護師長 辻口てるみ
看護師 印幡 香、多賀 明子
主 事 五十嵐信生、坂井 俊太

・第4班

派遣期間 1月16日～19日
活動場所 珠州市
活動内容 避難所巡回診療
班 員 医 師 水島伊佐美、森田 達也
看護師長 津村 陽子
看護師 清水 美穂、出口 義人
主 事 田原 光
管理要員 森澤 陽介

・第5班

派遣期間 1月23日～26日
活動場所 珠州市
活動内容 避難所巡回診療
班 員 医 師 杉森 一仁、吉野 涼太
看護師長 林 晴美
看護師 砂川 明菜、廣田 恵子
主 事 跡治 幸寛、笹岡俊一郎
管理要員 保科 秀樹

・第6班

派遣期間 2月1日～4日
活動場所 珠州市
活動内容 避難所巡回診療、救護所診療
班 員 医 師 川島 隼人、笠井 佑樹
看護師長 村上真由美
看護師 武田 有可、追野 真美

主 事 高柳 棕、中村 覚
管理要員 森田 侑介

・ 第 7 班

派遣期間 2 月 18 日～21 日
活動場所 珠洲市
活動内容 避難所巡回診療
班 員 医 師 日比野伸也、藤塚偉利哉
看護師長 石田 美幸
看 護 師 宮下 晴美、布川佳要子
主 事 清水 崇平、坂井 俊太
管理要員 相川 直毅

・ 日赤 DMAT

派遣期間 1 月 2 日～ 4 日
活動場所 七尾市
活動内容 情報収集
班 員 医 師 宮津 克幸
看護師長 曾山 潤
看 護 師 中田 愛子、津田 侑亮
業務調整員 酒井 陽輔



1 月 2 日 救護班 1 班 出発式



1 月 3 日未明 救護班 1 班 市立輪島病院から石川県立中央病院へ重傷者搬送



1月3日 救護班1班 公立能登総合病院ミーティング



1月10日 救護班2班 珠洲市若山小学校にて診療



1月11日 救護班2班 珠洲市蛸島保育所にて診療



1月16日 救護班3班 珠洲市飯田小学校にて診療

2) 災害医療コーディネートチーム派遣

・第1班

派遣期間 1月17日～20日

活動場所 石川県支部災害対策本部

活動内容 情報収集、活動調整

班 員 コーディネーター 橋本 浩

コーディネートスタッフ 橋本 美紀、木本竜太郎

・第2班

派遣期間 2月7日～11日

活動場所 能登町医療調整本部

活動内容 情報収集、活動調整

班 員 コーディネーター 橋本 浩

コーディネートスタッフ 山本 百合、土肥 弘明

3) こころのケア班派遣

・第1班

派遣期間	3月28日～4月2日
活動場所	珠洲市
活動内容	こころのケア活動
班 員	看護師長 曾山 潤 看 護 師 山田美穂子 主 事 下田 知美、林 信宏

4) 支部支援要員派遣

派遣期間	1月14日～18日
活動場所	石川県支部災害対策本部
活動内容	石川県支部災害対策本部支援
支援要員	清水 薫

5) 医療機関支援（看護師の派遣）

派遣期間	1月22日～27日
活動場所	市立輪島病院
活動内容	病院支援
派遣看護師	田嶋 良裕

派遣期間	2月6日～11日
活動場所	市立輪島病院
活動内容	病院支援
派遣看護師	日合系伊子

派遣期間	2月11日～16日
活動場所	市立輪島病院
活動内容	病院支援
派遣看護師	橋詰 恵子

派遣期間 2月16日～21日
活動場所 市立輪島病院
活動内容 病院支援
派遣看護師 藤城 優子

6) 富山県災害対策本部員会議及び災害対策本部（保健医療調整）へ職員派遣

派遣期間 1月1日～4日
活動場所 富山県防災危機管理センター
活動内容 情報収集
派遣職員 坂井 繁之

7) こころのケア調整班（本社・他支部合同班）

派遣期間 2月8日～15日
活動場所 能登中部保健福祉センター
活動内容 こころのケア活動調整
派遣職員 清水 薫

8) 救援物資搬送

搬送日 1月1日
物資名 毛布2,900枚、携帯型トイレ3400個
搬送先 氷見市

搬送日 1月3日
物資名 毛布500枚、安眠セット300組
搬送先 輪島市

搬送日 1月5日
物資名 毛布100枚・緊急セット・鍋セット・カセットコンロ各50組、
タオル500枚
搬送先 氷見市

9) 赤十字奉仕団の活動

- ・高岡中央赤十字奉仕団、伏木赤十字奉仕団

活 動 日 1月5日～6日
活動場所 高岡市立伏木小学校・中学校
活動内容 炊き出し実施（延480食）

- ・十二町赤十字奉仕団

活 動 日 1月5、6、9、15、16日
活動場所 氷見市ふれあいスポーツセン
ター、氷見市立灘浦小学校
活動内容 炊き出し実施（延1,120食）、
避難所運営補助



(2) 新型コロナウイルス感染に対する対応

県内で第1次的な避難所となる公立小学校を対象に、換気を目的とした直径1mの大型サーキュレーターを配備する事業を令和2年度から開始した。（5ヶ年で179ヶ所に配備する予定。令和5年度は40校へ配備した。）

令和5年度

富山市：水橋西部小学校・水橋東部小学校・三成小学校・船峠小学校
大沢野小学校・大久保小学校・上滝小学校・小見小学校・大庄小学校
福沢小学校・八尾小学校・保内小学校・杉原小学校・速星小学校
鷺坂小学校・朝日小学校・宮野小学校・古里小学校
高岡市：牧野小学校・太田小学校・戸出東部小学校・戸出西部小学校
中田小学校
魚津市：道下小学校
氷見市：海峰小学校・灘浦小学校
滑川市：北加積小学校
黒部市：村椿小学校・若栗小学校
砺波市：庄東小学校・鷹栖小学校
小矢部市：津沢小学校

南砺市：上平小学校、南砺つばき学舎

射水市：放生津小学校・堀岡小学校・塚原小学校

入善町：わくわくドーム

上市町：相ノ木小学校

立山町：立山小学校

(3) 救護班等の編成と救護要員の研修

ア DMA Tの編成：(富山赤十字病院)

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	業 務 調整員	計
D M A T	2	3	10	4	19

イ 救護班の編成

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	主 事	自 動 車 操作要員	計
常 備 要 員	8	8	16	8	8	48

ウ 救護員登録状況

救護員区分	救 護 班 要 員						災害対策 本部要員	血液供給 要 員	合計
	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師			
支 部	0	0	0	0	0	0	10		10
病 院	42	21	283	18	8	4	19		395
血液センター	0	0	12	6	0	0	8	10	36
合 計	42	21	295	24	8	4	37	10	441

エ コーディネートチーム

要員 \ 区分	コーディネーター	コーディネートスタッフ	計
コーディネートチーム	1	4	5

オ 救護要員の研修

No.	期 日	研修会名	研修会場	対象者	参加人数	主催
1	6月2日(金)	救護班要員研修会	富山赤十字病院 教育研修棟 3階講堂	常備救護班要員	11	日赤富山県支部
2	7月8(土)～9日(日)	日赤災害医療コーディネート研修会	日赤本社	コーディネーター コーディネートスタッフ 救護担当スタッフ	1	日赤本社
3	9月23(土)～24日(日)	日赤災害医療コーディネート研修会	日赤本社	コーディネーター コーディネートスタッフ 救護担当スタッフ	1	日赤本社

(4) 救 護 訓 練

災害発生に際し最も迅速を要する被災者の医療救護、搬送、通信、医薬品輸送などの技術的な向上を図るため、毎年、各種の訓練を実施するとともに、県、市町村等が行う防災訓練に積極的に参加している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、感染対策を徹底した上で訓練を実施した。

期 日	訓練名	訓練場所	訓練内容	参加者
6／9(金)	支部・施設合同災害救護訓練	日赤富山県支部	救護資機材運用 救護所設営 医療救護 災害診療記録作成	病院 10 血液センター 2 支部 6
9／24(日)	魚津市総合防災訓練	魚津市	救急指導法	救急法指導員 2 支部 1
9／5(火)	富山空港消火救難訓練	富山空港	医療救護	病院 5 支部 1
8／23(水)	富山県支部災害対策本部立ち上げ訓練	日赤富山県支部	災害対策本部運用	病院 9 血液センター 2 支部 富山10 石川 2 福井 1
10／1(日)	富山市総合防災訓練	富山市	医療救護	病院 5 支部 2
8／27(日)	富山県総合防災訓練	高岡市	医療救護	病院 5 支部 3
10／29(日)	射水市総合防災訓練	射水市	救急指導法	支部 1
11／17(金)～18日(土)	日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練	愛知県内の各赤十字施設	救護班参集 医療救護（救護所・避難所） 災害対策本部運用	病院 5 支部 5
11／7(火)	富山県国民保護訓練	富山市	図上訓練、実働訓練	支部 2
11／29(水)	富山赤十字病院災害訓練	富山赤十字病院	図上訓練	病院 25

(5) 救護資材の整備

品 目		数 量		品 目	数 量
救	急 車	1台		浄 水 器	1台
救	援 車	6台		テ ン ト	10張
衛	星 電 話	4台		ド ラ ッ シ ュ テ ン ト	2張
業務無線	基 地 局	2基		ワ ン タ ッ チ テ ン ト	4張
	移 動 局	12台		エ ア テ ン ト	3張
	携 帯 型 移 動 局	22台		折 畳 寝 台	31台
短波無線（アマ無線）		1基		担 架	15台
NBC（災害除染セット）		1セット		担 架 架 台	6台
発	電 機	5台		移 動 組 立 式 炊 飯 器	13基
投	光 器	4台		医 療 セ ッ ト	3セット
患 者	用 毛 布	60枚		初 動 用 医 療 セ ッ ト	1セット
携 帯	ラ ジ オ	5台		ボ ラ ン テ ィ ア ベ ス ト	50着
医 療	用 作 業 台	5台		通 信 用 パ ソ コ ン セ ッ ト	2セット
救護班用放射線防護資材		14セット		モ バ イ ル Wi Fi ル ー タ ー	1台
救 命	胴 衣	15着		携 帯 電 話	1台
A	E D	4台			

(6) 災害救援車の配備

災害救護活動の円滑化を図るため、昭和60年度から管内地区区分へ災害救援車を配備している。

○救援車両一覧

配備先（常置場所）	車両の種類	車種（名称）	製造会社名	取得年月日	登録番号
日赤富山市地区	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3315
日赤富山市地区（大沢野・細入）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3316
日赤富山市地区（大山）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 21	富山400た1862
日赤富山市地区（八尾）	災害救援車	NV100クリッパー	ニッサン	H27. 7. 10	富山480け9018
日赤富山市地区（婦中・山田）	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H26. 7. 23	富山580は9233
日赤高岡市地区	災害救援車	N V200バネット	ニッサン	H29. 7. 24	富山800す3607
日赤高岡市地区（福岡）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H17. 9. 15	富山400そ4163
日赤魚津市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 3. 11. 10	富山400と5814
日赤氷見市地区	災害救援車	アルト	スズキ	H30. 11. 15	富山581え5499
日赤滑川市地区	災害救援車	エブリイPCハイルーフ	スズキ	R 1. 6. 5	富山480す3732
日赤黒部市地区	災害救援車	プロボックスDXコンフォート	トヨタ	R 3. 9. 30	富山400と5535
日赤黒部市地区（宇奈月）	災害救援車	サクシードワゴン	トヨタ	H24. 6. 29	富山501は4815
日赤砺波市地区	災害救援車	プロボックス	トヨタ	R 5. 10. 31	富山400な562
日赤砺波市地区（庄川）	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H20. 5. 30	富山400た5252
日赤小矢部市地区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H28. 8. 26	富山400て253
日赤南砺市地区（城端）	災害救援車	タント	ダイハツ	R 4. 3. 15	富山581た3527
日赤南砺市地区（上平）	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H26. 7. 28	富山501も840
日赤南砺市地区（利賀）	災害救援車	ラッシュX	トヨタ	H25. 7. 19	富山501み8480
日赤南砺市地区（井波）	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H24. 8. 23	富山400ち7281
日赤南砺市地区（井口）	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H21. 12. 2	富山400た9519
日赤南砺市地区（福野）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	H28. 7. 28	富山480こ5651
日赤南砺市地区（福光）	災害救援車	タント	ダイハツ	H30. 7. 30	富山581え7353
日赤射水市地区（新湊）	災害救援車	ステラ	スバル	H22. 5. 21	富山580ち7485
日赤射水市地区（大島）	災害救援車	ミライース	ダイハツ	H26. 6. 19	富山580は6497
日赤射水市地区（小杉）	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H18. 5. 31	富山501せ5005
日赤射水市地区（大門）	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	R 3. 1. 29	富山480せ3304
日赤射水市地区（下）	災害救援車	ウイングロード	トヨタ	H19. 11. 30	富山530の8100
日赤入善町分区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H29. 7. 6	富山400て3007
日赤朝日町分区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H29. 6. 5	富山400て2713
日赤舟橋村分区	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H21. 4. 14	富山501な9684
日赤上市町分区	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H26. 9. 30	富山501も4274
日赤富山県支部	災害救援車	サファリ	ニッサン	H12. 3. 28	富山300せ7955
日赤富山県支部	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H16. 9. 30	富山500や683
日赤富山県支部	災害救援車	タント	ダイハツ	H19. 11. 22	富山580け8791
日赤富山県支部	救援トラック	キャンター	三菱	H25. 3. 21	富山100す7583
日赤富山県支部	災害通信指令車	アルファード	トヨタ	H25. 3. 22	富山300さ7865
日赤富山県支部	救 急 車	ハイエース	トヨタ	H25. 3. 26	富山800す1288
日赤富山県支部	災害救援車	フィット	ホンダ	R 2. 3. 10	富山502と391

(7) 救援物資の備蓄と交付

県内において発生した火災・水害その他災害の被災者へ迅速に救援物資が交付できるよう、日頃から備蓄、地区分区への分置を行っている。

○災害救援物資備蓄状況

品 名	前年度末現在	取 得	払 出	令和5年度末現在
毛 布 (ケ イ リ ン)	1,268	500	681	1,087
綿 毛 布	239	87	14	312
緊 急 セ ッ ト	925	1,203	124	2,004
安 眠 セ ッ ト	354		309	45
鍋 ・ や か ん セ ッ ト	75	176	76	175
カ セ ッ ト コ ン ロ	112	150	75	187
タ オ ル	4,763	10,375	1,804	13,334
石 鹸	351		41	310
タ オ ル ケ ッ ト	300			300

地区分区別災害救援物資及び弔慰金交付状況

地 区 分区名	世帯数	人数	毛布	綿毛布	緊 急 セ ッ ト	タオル	鍋セット	カセット コ ン ロ	安 眠 セ ッ ト	石 鹸	弔慰金	
											件数	金額
富 山 市	37	41	24	3	26	600	4	6		18	1	10,000
高 岡 市	31	83	6	6	30	330	6	6		23	1	10,000
魚 津 市												
氷 見 市	54	143	113		53	580	53	53			1	10,000
滑 川 市												
黒 部 市												
砺 波 市	6	11	12	5	6	110	6	6				
小矢部市												
南 砺 市	2	5	8		2	40	2	2			1	10,000
射 水 市	1	6	8		1	24	1	1				
入 善 町												
朝 日 町	3	3	4		2	40	3	2				
舟 橋 村												
上 市 町	2	2	2		1	10	1				1	10,000
立 山 町	3	8			3	60						
そ の 他						10						
合 計	139	302	177	14	124	1804	76	76	0	41	5	50,000

※その他払出については劣化等により処分したもの。

(8) 臨時救護

地方公共団体、地区区分等の要請により救護員を派遣し、参集者の安全を図った。

なお、アルコール消毒・マスク等を整備し、コロナ感染予防対策をとった。

No.	期日	派遣行事名等	日数	救護員数	取扱傷病者数
1	4月25日	富山縣護國神社春季例大祭	1	2	0
2	5月28日	とやま森の祭典	1	2	0
3	8月7日	森と地下水の環境観察会	1	2	0
4	8月9日	森と地下水の環境観察会	1	2	4
5	8月27日	砺波市民プール	1	2	0
6	10月5日	富山縣護國神社秋季例大祭	1	2	0
7	10月14日	富山県放デイゆるゆる大運動会	1	2	0
合 計			7	14	4

(9) 防災教育事業

地域のニーズに合わせて災害への備え、防災・減災に関する講習会を開催してきた。日本赤十字社防災教育事業指導者を養成し、大規模災害の危険性に対し、地域の「自助」「共助」の力を高めるため、地域コミュニティでの防災教育に力を入れている。

また、避難所生活で役立つ知識等についても普及に努めている。

講習項目

災害への備え	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。
災害エスノグラフィー	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、災害を追体験し、被災状況をイメージする。
災害図上訓練（DIG）	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し個人や地域の防災意識を高める。
応急手当等	身近なものを用いた応急手当、救急法、災害時高齢者健康生活支援等を学ぶ。

防災啓発プログラム実施状況

No.	期日	地区名	実施場所	対 象	受講数	講習項目
1	7 / 18	立山町	同心公民館	シニアサロン	40	災害の備え新聞スリッパ、風呂敷リュック、毛布ガウン
2	7 / 21	富山市	四方公民館	四方小学校6年生・四方赤十字奉仕団	40	お家のキケン、炊き出し訓練、新聞スリッパ
3	9 / 16	富山市	新庄小学校	新庄校下自主防災連合会	200	災害の備え新聞スリッパ、風呂敷リュック、毛布ガウン
4	9 / 25	富山市	牛島諏訪会館	牛島1丁目長寿会	10	災害の備え新聞スリッパ、風呂敷リュック、毛布ガウン
5	10 / 14	高岡市	西五位公民館	福岡町赤十字奉仕団	25	家具安全対策ゲーム、災害のこころのケア
6	10 / 22	高岡市	ふれあい福祉センター	高岡市地区赤十字奉仕団連絡協議会員	30	家具安全対策ゲーム、災害のこころのケア
7	10 / 29	富山市	蜷川小学校	蜷川赤十字奉仕団	50	家具安全対策ゲーム
8	11 / 11	射水市	下村コミュニティセンター	下地区地域振興会	50	災害の備え、災害図上訓練
9	11 / 21	高岡市	伏木コミュニティセンター	伏木赤十字奉仕団	50	家具安全対策ゲーム、炊き出し訓練
10	11 / 28	舟橋村	舟橋会館	舟橋村民	27	災害の備え新聞スリッパ、風呂敷リュック、毛布ガウン
11	12 / 13	富山市	いずみ高校	いずみ高校保健委員会	36	災害の備え新聞スリッパ、風呂敷リュック、毛布ガウン
12	3 / 8	富山市	八尾コミュニティセンター	八尾町赤十字奉仕団	40	能登半島地震災害活動+救急法（心肺蘇生法+AED）
合 計					598	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(10) 海 浜 救 護

県内6ヵ所の海水浴場の臨時海浜救護所へ応急手当品を配付し、海水浴場利用者の安全を図った。

市 町 村	救護所名	開設日数	取扱傷病者数
富 山 市	八 重 津	12	3
	岩 瀬 浜	62	0
高 岡 市	松 太 枝 浜	15	7
氷 見 市	島 尾 浜	30	2
黒 部 市	石 田 浜	32	5
朝 日 町	宮 崎 浜	2	0
計		153	17

(11) 救護資材の貸し出し

支部が保有する炊き出し大鍋セットやAED（自動体外式除細動器）を県内各地で開催される自治会等主催の防災訓練や各種イベントに対して無料貸し出しを行っている。

令和5年度の貸し出し実績

AED 6回

炊き出し大鍋セット 6回 11セット

(12) 災害義援金・救援金受付状況

(単位：円)

目 的	件 数	金 額	送 金 先
令和5年能登半島地震災害義援金	62件	1,594,754円	日本赤十字社
令和5年台風2号等大雨災害義援金	11件	304,866円	日本赤十字社
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	1件	32,576円	日本赤十字社
令和5年7月7日からの大雨災害義援金（富山県分）	94件	9,342,688円	富 山 県
〃（本社受付富山県送金分）		1,795,218円	富 山 県
〃（他被災県分）	4件	1,693,877円	日本赤十字社
令和5年台風第6号災害義援金	8件	114,391円	日本赤十字社
令和5年台風13号災害義援金	12件	202,403円	日本赤十字社
中東人道危機救援金	1件	10,000円	日本赤十字社
ウクライナ人道危機救援金	515件	2,286,455円	日本赤十字社
2023年トルコ・シリア地震救援金	45件	10,448,283円	日本赤十字社
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	6件	61,325円	日本赤十字社
2023年モロッコ地震救援金	5件	92,452円	日本赤十字社
2023年リビア洪水救援金	3件	77,323円	日本赤十字社
アフガニスタン地震救援金	4件	34,463円	日本赤十字社
イスラエル・ガザ人道危機救援金	13件	250,352円	日本赤十字社
青少年赤十字1円玉募金	1件	4,812円	日本赤十字社
令和5年度NHK海外たすけあい救援金	564件	4,040,153円	日本赤十字社
令和6年能登半島地震災害義援金（富山県被災者支援）	3,907件	1,057,413,246円	富 山 県
〃（本社受付富山県送金分）		301,322,629円	富 山 県
〃（被災4県支援）	1,495件	124,469,585円	日本赤十字社
合 計	6,751件	1,515,591,851円	

※郵便振替を利用し、日赤本社や被災地支部に直接送金された件数・金額は含まない。

3 赤十字救急法等の講習

(1) 救 急 法

自らの健康安全と不慮の事故や災害で急病人やケガ人が出たとき、それ以上悪化させないように応急手当を施し、医師に引き渡すことができるように、知識と技術を学ぶもので、自然災害や交通事故等への対応を身につける必要性重視されてきている。



例年、小中学校、企業その他の団体の要請に対し救急法指導員の資格を有するボランティア等を派遣し、それぞれの事業所等で講習を実施するほか、支部において一般対象の講習を開催している。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、短期講習においても人工呼吸の実技を除き、講習内容をより従来の形に戻しながら講習を進めた。

救急法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4 / 7	富山市	奥田北小学校	教職員	30
2	4 / 13	富山市	市総合体育館	職員	11
3	4 / 18	富山市	富山大学教育学部附属小学校	教職員	34
4	5 / 10	富山市	職藝学院	学生・教職員	26
5	5 / 11	滑川市	領家町公民館	地域住民	16
6	5 / 21	砺波市	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	12
7	5 / 22	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	47
8	5 / 29	高岡市	横田小学校	教職員	15
9	5 / 29	高岡市	牧野小学校	教職員	35
10	5 / 31	富山市	飯野タウンなごみ	職員	20
11	6 / 1	富山市	速星公民館	プール管理者	62
12	6 / 1	富山市	県総合教育センター	新採養護教諭	4
13	6 / 5	立山町	林業カレッジ	林業従事者	17
14	6 / 5	高岡市	木津小学校	教職員	20
15	6 / 6	富山市	速星公民館	養護教諭	47
16	6 / 7	富山市	新庄小学校	教職員	28
17	6 / 7	滑川市	市生涯学習センター	教職員	21
18	6 / 8	富山市	速星公民館	養護教諭	49
19	6 / 8	富山市	藤ノ木小学校	教職員	50
20	6 / 12	富山市	豊田小学校	教職員	35
21	6 / 12	富山市	広田小学校	教職員	20

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
22	6 / 12	富山市	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	90
23	6 / 13	富山市	大庄小学校	教職員	20
24	6 / 13	富山市	浜黒崎小学校	教職員	15
25	6 / 13	高岡市	能町小学校	教職員	25
26	6 / 14	富山市	芝園小学校	教職員・PTA	44
27	6 / 14	富山市	八幡小学校	教職員	18
28	6 / 14	富山市	古沢小学校	教職員・PTA	13
29	6 / 15	富山市	太田小学校	教職員・保護者	20
30	6 / 15	富山市	新庄北小学校	教職員	30
31	6 / 16	富山市	蛭川小学校	教職員	40
32	6 / 16	富山市	中央小学校	教職員	25
33	6 / 16	富山市	山室小学校	教職員	43
34	6 / 18	立山町	五百石四区公民館	地域住民	14
35	6 / 19	富山市	光陽小学校	教職員	30
36	6 / 19	富山市	山室中部小学校	教職員	30
37	6 / 20	富山市	檜尾小学校	教職員・保護者	13
38	6 / 20	富山市	宮野小学校	教職員	15
39	6 / 21	富山市	呉羽小学校	教職員	38
40	6 / 22	富山市	草島小学校	教職員	11
41	6 / 22	高岡市	野村小学校	教職員	45
42	6 / 23	富山市	水橋中部小学校	教職員	15
43	6 / 23	富山市	柳町小学校	教職員	20
44	6 / 26	富山市	寒江小学校	教職員・保護者	20
45	6 / 27	富山市	針原小学校	教職員	16
46	6 / 27	富山市	新庄北地区センター	PTA	20
47	6 / 27	富山市	ウィンディ	職員	31
48	6 / 28	滑川市	西部小学校	教職員	23
49	6 / 29	高岡市	万葉小学校	PTA	16
50	6 / 29	高岡市	高岡商業高校	教職員	18
51	6 / 30	富山市	岩瀬小学校	教職員	20
52	6 / 30	富山市	荻浦小学校	教職員	17
53	7 / 3	射水市	新湊高校	教職員	16
54	7 / 3	富山市	赤十字血液センター	中学生	4
55	7 / 4	富山市	速星公民館	プールアルバイト	8
56	7 / 8	高岡市	二塚小学校	保護者・児童	50
57	7 / 18	上市町	働く婦人の家	上市町赤十字奉仕団	13
58	7 / 21	富山市	高志支援学校	教職員	35
59	7 / 24	富山市	北部中学校松風分校	教職員	26
60	7 / 19	高岡市	トヨタモビリティ富山・Seul 高岡南	職員	12
61	7 / 20	魚津市	トヨタモビリティ富山・魚津	職員	13
62	7 / 25	富山市	品川グループ本社 タイヤセレクト富山	職員	40
63	7 / 24	富山市	興南中学校	教職員	19
64	7 / 25	富山市	富山高校	教職員	18
65	7 / 21	富山市	しらとり支援学校	教職員	15
66	7 / 26	富山市	新庄中学校	教職員	30
67	7 / 26	富山市	富山流通会館	職員	26

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
68	7 / 26	富山市	水橋中学校	教職員	16
69	7 / 27	富山市	堀川中学校	教職員	40
70	7 / 27	富山市	呉羽中学校	教職員	30
71	7 / 28	富山市	あいあいおくだの家	職員	15
72	7 / 28	富山市	三成中学校	教職員	12
73	7 / 31	富山市	富山総合支援学校	教職員	51
74	7 / 31	富山市	西部中学校	教職員	23
75	7 / 31	富山市	月岡中学校	教職員	14
76	8 / 4	富山市	和合中学校	教職員	38
77	8 / 6	富山市	サンシップとやま	病児家族会	20
78	7/31, 8/1, 3, 4, 7	富山市	ウィンディ	職員	5
79	8 / 15	富山市	県総合体育センター	バレーボールコーチ	37
80	8 / 26	南砺市	上平交流センター	上平奉仕団	7
81	9 / 19	射水市	コストコ射水倉庫店	職員	15
82	9 / 24	魚津市	西布施公民館	地域住民	25
83	9 / 28	富山市	宮野小学校	児童・教職員	344
84	10 / 1	富山市	奥田地区センター	地域住民	35
85	10 / 10	滑川市	富山医療福祉専門学校	学生	19
86	10 / 6, 12	富山市	富士薬品	職員	30
87	10 / 29	射水市	七美コミュニティセンター	地域住民	30
88	11 / 8	富山市	県スマート農業普及センター	農業関係者	102
89	11 / 11	富山市	羽根公民館	自主防災会隊員	20
90	9 / 5	射水市	いみず市民交流プラザ	PTA	54
91	10 / 24	南砺市	ア・ミューホール	PTA	45
92	11 / 1	富山市	大沢野会館	PTA	56
93	11 / 12	砺波市	砺波青少年自然の家	スキーパトロール隊員	15
94	11 / 25	富山市	八尾公民館	指導・保護者	74
95	12 / 7	富山市	富山商業高校	生徒・教職員	26
96	12 / 12	富山市	ウィンディ	職員	3
97	12 / 19	高岡市	高岡商業高校	生徒	19
98	12 / 28	富山市	富山小林製薬	職員	33
99	1 / 30	富山市	三成中学校	生徒	28
100	1 / 31	富山市	くれは苑	職員	28
101	2 / 6	立山町	林業カレッジ	受講者	10
102	2 / 7	富山市	くれは苑	職員	30
103	2 / 28	富山市	赤十字血液センター・マリエ献血ルーム	職員	21
104	2 / 29	富山市	赤十字血液センター・マリエ献血ルーム	職員	23
105	3 / 4	富山市	くれは苑	職員	18
106	3 / 6	富山市	くれは苑	職員	16
107	3 / 18	富山市	山室中学校	生徒	179
合 計					3,325

○救急員養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	5 / 3・4	2	富山市	日赤富山県支部	一般	14
2	5 / 25・26	2	富山市	県警察学校	警察官	10
—	5 / 25・26	2	富山市	日赤富山県支部	職員	開催中止 (※)
3	8 / 17~18	2	富山市	日赤富山県支部	一般	11
4	10 / 14・21	2	富山市	日赤富山県支部	一般	18
5	12 / 10・17	2	富山市	日赤富山県支部	一般	16
6	2 / 21・22	2	富山市	県総合体育センター	一般	15
7	3 / 23・24	2	砺波市	日赤富山県支部	一般	19
合 計		16				103

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○基礎講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4 / 29	1	富山市	日赤富山県支部	一般	16
2	5 / 13	1	富山市	日赤富山県支部	一般	10
3	5 / 24	1	富山市	県警察学校	警察官	10
4	8 / 16	1	富山市	日赤富山県支部	一般	18
5	8 / 30	1	魚津市	新川高校	生徒・教職員	20
6	9 / 3	1	富山市	日赤富山県支部	一般	17
7	10 / 7	1	富山市	日赤富山県支部	一般	16
8	11 / 11	1	富山市	日赤富山県支部	一般	14
9	12 / 2	1	富山市	日赤富山県支部	一般	8
10	1 / 6	1	富山市	日赤富山県支部	一般	5
11	2 / 19	1	富山市	県総合体育センター	一般	18
12	3 / 20	1	富山市	日赤富山県支部	一般	18
合 計		12				170

(2) 水上安全法

水の事故といえば、すぐにプールや海水浴を思い浮かべるが、水による事故のほとんどは水泳中以外に発生している。水上安全法の目的は、尊い命を水の事故から守るために、主として事故防止と自己保全、そして溺れた人を安全に救助する方法を習得することにある。



新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、小学校より着衣泳講習の開催要望が戻った。夏場の猛暑、大雨により開催を見合わせた学校もあった。

水上安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	4 / 21	富山市	東富山温水プール	職員	19
2	4 / 25	砺波市	市温水プール	職員	10
3	6 / 27	高岡市	県高岡総合プール	職員	15
4	6 / 29	高岡市	アクトス Will 高岡	従業員	11
5	7 / 7	富山市	岩瀬小学校	児童	37
6	7 / 11	富山市	ウィンディ	職員	11
7	7 / 11	高岡市	成美小学校	児童	50
－	7 / 12	富山県	県総合体育センター	消防初任科生	開催中止※1
－	7 / 13	富山市	檜尾小学校	児童	開催中止※2
8	7 / 13	南砺市	上平小学校	児童	64
9	7 / 14	富山市	桜谷小学校	児童	105
10	7 / 18	富山市	古沢小学校	児童	39
11	7 / 18	富山市	県総合体育センター	職員	16
12	7 / 22	高岡市	万葉小学校	児童・保護者	44
－	8 / 5	富山市	奥田小学校	児童	開催中止※2
－	8 / 20	射水市	新湊小学校	児童	開催中止※2
13	9 / 6	富山県	県総合体育センター	警察初任科生	39
14	9 / 30	富山市	東富山温水プール	職員	12
15	11 / 1	滑川市	滑川室内温水プール	職員	6
16	11 / 26	富山市	県総合体育センター	水泳指導員	59
17	12 / 22	富山市	県総合体育センター	警察初任科生	45
合 計					582

※1 新型コロナウイルス感染者発生により開催中止

※2 大雨、猛暑により主催者側の判断により開催中止

○救助員Ⅰ養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	9 / 10・17・18	3	富山市	県総合体育センター	一般	15
合 計		3				15

○指導員Ⅰ養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
1	1 / 8・21・28 2 / 10・11	5	富山市	日赤富山県支部 県総合体育センター	一般	5
合 計		5				5

(3) 健康生活支援講習

誰もが高齢期を健やかに過ごせるよう、必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向けて、役立つ介護支援技術を習得することを目的に実施した。

「災害時高齢者生活支援講習」や「地域で支える認知症講習」を短期講習として開催し、1人でも多くの人が高齢者や認知症の人、その家族の支援者となり、安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待している。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を伴う支援員養成講習会の開催は職員対象のみとし、感染防止を徹底し接触を伴わない短期講習を中心に行った。

講習科目及び時間

講習区分	講習科目	講習時間
健康生活支援講習 支援員養成講習	1 高齢者の健康と安全のために 2 地域における高齢者支援に役立つ知識と技術 3 日常生活の具体的な介護の知識と技術	12時間
災害時高齢者生活支援講習 (短期講習)	1 災害について 2 災害が高齢者に及ぼす影響 3 接するときのこころづかい 4 気をつけたい病気や症状 5 知って役立つ技術 6 ボランティアの心得	2時間
地域で支える認知症 (短期講習)	1 認知症とは 2 認知症の主な症状 3 認知症の人への対応 4 予防と早期発見 5 家族の理解と支援 6 地域で支えるために	1.5時間
健康生活支援講習短期講習	支援員養成科目から一部抽出	必要とする時間

- (1) 健康生活支援講習支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者
- (2) 学科検定合格者には「認定証」を交付する。

健康生活支援講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	4 / 21	富山市	山室地区センター	山室赤十字奉仕団	25
2	4 / 22	射水市	新湊消防署	新湊中央赤十字奉仕団	24
3	5 / 22	魚津市	大海寺新公民館	桃山いきいきサロン会員	16
4	7 / 11	高岡市	伏木高校	生徒	21
5	8 / 21	魚津市	大海寺新公民館	桃山いきいきサロン会員	16
6	9 / 12	射水市	片口小学校	児童・教職員	36
7	10 / 4	富山市	向新庄公民館	向新庄東部長寿会員	21
8	10 / 5	富山市	山田公民館	山田地域社会福祉協議会会員	40
9	10 / 14	富山市	健保富山会館	健保連富山連合会会員	56
10	10 / 17	砺波市	庄川農村環境改善センター	庄川町赤十字奉仕団	26
11	10 / 26	砺波市	砺波社会福祉会館	砺波市赤十字奉仕団	50
12	11 / 9	高岡市	とやま生協西部センター	活動会員	8
13	11 / 10	魚津市	とやま生協東部センター	活動会員	8
合 計					347

○災害時高齢者生活支援講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	4 / 15	富山市	日赤富山県支部	ともしび赤十字奉仕団	28
2	6 / 19	富山市	日赤富山県支部	いずみ高校看護科 生徒・教職員	40
3	7 / 4	富山市	いずみ高校	いずみ高校看護科 生徒・教職員	39
4	11 / 8	富山市	安養坊公民館	地域住民	15
合 計					122

○「地域で支える認知症」講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	9 / 11	小矢部市	市総合保険福祉センター	小矢部市赤十字奉仕団	29

○支援員養成講習

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
1	5 / 20、5 / 27	富山市	日赤富山県支部	一般	4
2	8 / 29、8 / 30	富山市	富山赤十字病院	職員	6
3	12 / 3、12 / 10	富山市	日赤富山県支部	一般	4
4	2 / 3、2 / 4	富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止 (※)
合 計					14

※能登半島地震災害対応のため開催中止

(4) 幼児安全法

子どもが家庭や地域で安全に健やかに育っていくように、子どもに起こりやすい事故の防止と手当ての方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援など、地域生活の中で役立つ知識や技術を学ぶものであり、次のとおり実施した。

少子化の下で本講習を契機に社会全体で子どもを育てていくという機運を高めるため、更なる普及に努める。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を伴う支援員養成講習会の開催は中止し、感染防止を徹底し接触を伴わない短期講習を中心に行った。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
幼 児 安 全 法 支 援 員 養 成 講 習	1 赤十字幼児安全法について 2 子どもの成長発達と事故予防 3 子どもの応急手当 4 子どもの病気と看病の仕方 5 地域の子育て支援 ～社会全体で子どもを大切に育てるために～	12時間
幼 児 安 全 法 短 期 講 習	支援員養成講習の科目から一部抽出	必要とする時間

- (1) 幼児安全法支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者
(2) 検定（学科・実技）合格者には「認定証」を交付する。

幼児安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講者数
	1 / 25	富山市	水橋児童館	水橋児童館	開催中止（※）
	1 / 26	立山町	町保険センター	子育て中の親子	開催中止（※）
1	4 / 26	富山市	太田公民館	ファミリーサポートセンター会員	4
2	5 / 18	富山市	県総合体育センター	新規採用幼稚園・保育教諭	35
3	5 / 19	立山町	釜ヶ淵公民館	親子・子育てサロンスタッフ	17
4	5 / 24	富山市	子育て支援センター	ファミリーサポートセンター会員	25
5	6 / 13	高岡市	こどものその	保護者	9
6	6 / 14	砺波市	出町児童センター	児童厚生員	10
7	6 / 15	富山市	子育て支援センター	乳幼児とその保護者	19
8	6 / 23	富山市	藤ノ木公民館	ファミリーサポートセンター会員	2
9	6 / 26	氷見市	余川営農研修館	乳幼児とその保護者	4
10	6 / 29	魚津市	健康センター	乳幼児とその保護者	18
11	7 / 5	南砺市	福光児童館	ファミリーサポートセンター会員	20
12	7 / 6	富山市	奥田公民館	保育補助者	10

No.	期日	市町村	実施場所	対象者	受講者数
13	7/10	射水市	いみず市民交流プラザ	ファミリーサポートセンター会員	23
14	7/13	氷見市	ひみ中央こども舎	乳幼児とその保護者	6
15	7/20	射水市	いみず市民交流プラザ	ファミリーサポートセンター会員	18
16	7/22	富山市	くまのこども園	職員	27
17	7/24	富山市	恵光学園	保護者・職員	40
18	7/25	富山市	大久保ふれあいセンター	ファミリーサポートセンター会員	8
19	7/26	富山市	富山赤十字病院 オンライン	のびのびサークル親子	10
20	8/19	富山市	にながわ保育園	職員	50
21	8/28	富山市	豊田公民館	ファミリーサポートセンター会員	5
22	9/6	富山市	くまのこども園	親子サークル	5
23	9/13	富山市	新庄保育所	親子サークル・職員	5
24	9/19	舟橋村	子育て支援センター	親子サークル・職員	10
25	9/28	富山市	呉羽公民館	ファミリーサポートセンター会員	5
26	10/21	滑川市	早月加積認定こども園	養護教諭	18
27	10/24	富山市	新庄北地区センター	ファミリーサポートセンター会員	5
28	11/14	富山市	青い鳥保育園	職員	20
29	11/20	富山市	蛭川公民館	ファミリーサポートセンター会員	5
30	11/24	立山町	新川公民館	子育てサロン参加者・スタッフ	12
31	12/6	高岡市	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	16
32	12/7	魚津市	健康センター	乳幼児をもつ家族	14
33	12/14	魚津市	つばめ児童センター	ファミリーサポートセンター会員	10
34	12/15	富山市	大久保児童館	親子	5
35	12/23	富山市	桜谷保育園	職員	40
36	12/27	富山市	富山赤十字病院 オンライン	のびのびサークル親子	6
37	2/9	富山市	八尾行政サービスセンター	乳幼児をもつ家族・職員	7
38	2/18	富山市	ふれあい館	ファミリーサポートセンター会員	5
39	3/18	富山市	県立乳児院	職員	5
40	3/21	富山市	県立乳児院	職員	5
41	3/22	富山市	県立乳児院	職員	5
42	3/27	富山市	県立乳児院	職員	5
43	3/29	富山市	県立乳児院	職員	4
合 計					572

※能登半島地震災害対応のため中止

○支援員養成講習

No.	期日	講習日数	市町村	実施場所	対象	受講者数
1	6/17、24	2	富山市	日赤富山県支部	一般	11
2	10/22、29	2	富山市	日赤富山県支部	一般	4
3	3/2、3	2	富山市	日赤富山県支部	一般	9
合 計						24

市町村別講習一覧

市町村	養成講習				基礎講習	短期講習					
	救急法 救急員	水上安全 法救助員	健康生活 支援員	幼児安全 法支援員	救急法	救急法	水上 安全法	健康生活 支援	災害時 高齢者支援	地域で支える 認知症	幼児 安全法
富山市	2	1			1	78	9	4	4		28
高岡市						11	4	2			2
射水市						4		2			2
魚津市					1	2		3			3
氷見市											2
滑川市						4	1				1
黒部市											
砺波市						2	1	2			1
小矢部市										1	
南砺市						2	1				1
朝日町											
入善町											
舟橋村											1
上市町						1					
立山町						3					2
小計	2	1	0	3	2	107	16	13	4	1	43
その他			1				1				
県支部	5		2	3	10						
合計	7	1	3	3	12	107	17	13	4	1	43

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

奉仕団には、一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、18歳～30代の社会人や学生によって組織された「青年赤十字奉仕団」、災害救援・点訳など特殊な技能を持った人達で組織された「特殊赤十字奉仕団」がある。

富山県支部においては、地域奉仕団が県内15市町村で49団のほか、青年奉仕団1団と、特殊奉仕団（点訳、災害救援、病院、芸能、ともしび、無線、青少年赤十字賛助）7団が結成されており、約3,100人の団員が幅広いボランティア活動を行った。

(1) 赤十字奉仕団結成状況

ア 地域奉仕団

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	柳町赤十字奉仕団	富山市	S47.8.29	休 団	—	—	—	—	0
2	蜷川赤十字奉仕団		S47.11.2	杉山 由美	9	0	2	88	90
3	清水町赤十字奉仕団		S50.6.24	田村 義秋	0	0	12	35	47
4	愛五赤十字奉仕団		S53.3.7	平岡 香代	0	2	0	26	26
5	白菊赤十字奉仕団		S53.4.22	中村ひとみ	0	0	1	34	35
6	四方赤十字奉仕団		S54.2.15	任海 哲朗	0	0	5	92	97
7	新庄赤十字奉仕団		S55.5.30	黒畑 喜昭	0	8	19	41	60
8	安野屋赤十字奉仕団		S61.5.1	長谷 芳子	0	0	0	16	16
9	山室赤十字奉仕団		S62.6.20	大野 幸恵	0	0	3	88	91
10	堀川南赤十字奉仕団		H4.6.29	休 団	—	—	—	—	0
11	新庄北赤十字奉仕団		H26.4.2	平野 桂子	0	8	12	55	67
12	大山赤十字奉仕団	富山市大山	S57.12.9	市川千賀子	0	0	0	41	41
13	八尾町赤十字奉仕団	富山市八尾	S53.4.21	岡崎 智子	9	0	0	137	137
14	婦中赤十字奉仕団	富山市婦中	S54.9.26	竹内 久子	8	0	0	47	47
15	山田赤十字奉仕団	富山市山田	S57.8.6	今井 節子	0	0	0	24	24
16	高岡南部丸美赤十字奉仕団	高岡市	S42.7.10	金田 桜子	4	0	6	58	64
17	伏木赤十字奉仕団		S51.9.28	石須 大雄	6	0	27	82	109
18	中田赤十字奉仕団		S52.9.2	高桑 恭子	0	0	1	35	36
19	高岡中央赤十字奉仕団		S53.10.20	田辺 恵子	0	0	1	92	93
20	福岡町赤十字奉仕団		S58.7.3	石田真由美	0	0	2	42	44
21	魚津市赤十字奉仕団	魚津市	S54.12.7	中才美喜子	2	4	1	79	80
22	朝日丘赤十字奉仕団	氷見市	S52.8.9	休 団	—	—	—	—	0

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
23	東 赤 十 字 奉 仕 団	氷見市	S 52. 11. 5	休 団	—	—	—	—	0
24	十 二 町 赤 十 字 奉 仕 団		H 15. 10. 5	森越美智子	0	0	0	20	20
25	窪 赤 十 字 奉 仕 団		H 16. 10. 2	森 節 子	0	0	0	24	24
26	滑 川 市 赤 十 字 奉 仕 団	滑川市	S 57. 5. 1	石原 雅雄	0	0	2	64	66
27	宇 奈 月 赤 十 字 奉 仕 団	黒部市	S 47. 3. 10	清水 晴乃	0	0	0	12	12
28	黒部市石田赤十字奉仕団		S 57. 7. 20	出戸端淑子	0	0	0	34	34
29	砺 波 市 赤 十 字 奉 仕 団	砺波市	S 57. 3. 24	岡部 紀子	0	7	5	237	242
30	庄 川 町 赤 十 字 奉 仕 団		S 58. 11. 13	中村ひとみ	0	0	50	102	152
31	小 矢 部 市 赤 十 字 奉 仕 団	小矢部市	S 59. 2. 15	中西 順子	0	0	0	50	50
32	南 砺 市 福 野 赤 十 字 奉 仕 団	南砺市	S 52. 10. 26	長井久美子	0	0	0	37	37
33	南 砺 市 福 光 赤 十 字 奉 仕 団		S 53. 6. 14	南 好美	0	0	0	49	49
34	南 砺 市 井 波 赤 十 字 奉 仕 団		S 55. 6. 6	岩城美智恵	0	0	9	80	89
35	南 砺 市 城 端 赤 十 字 奉 仕 団		S 60. 2. 27	大宅 京子	0	0	0	46	46
36	南 砺 市 井 口 赤 十 字 奉 仕 団		H 1. 3. 12	荒岡 悦子	0	0	1	33	34
37	南 砺 市 平 赤 十 字 奉 仕 団		H 1. 12. 17	谷場美智子	0	0	0	25	25
38	南 砺 市 上 平 赤 十 字 奉 仕 団		H 2. 10. 14	北田 祥子	0	4	3	22	25
39	南 砺 市 利 賀 赤 十 字 奉 仕 団		H 3. 4. 18	岩腰 悦子	0	0	0	19	19
40	下 村 赤 十 字 奉 仕 団	射水市	S 46. 12. 8	竹苗 典子	0	0	0	12	12
41	射水市大江赤十字奉仕団		S 53. 7. 6	岩脇 明美	0	5	0	109	109
42	大 門 町 赤 十 字 奉 仕 団		S 56. 9. 24	休 団	—	—	—	—	0
43	射水市大島赤十字奉仕団		S 56. 12. 21	小川 和子	0	0	0	52	52
44	新 湊 中 央 赤 十 字 奉 仕 団		H 9. 2. 19	米島 敏子	0	7	1	77	78
45	入 善 町 赤 十 字 奉 仕 団	入善町	S 51. 3. 27	松倉 好美	10	0	2	115	117
46	朝 日 町 赤 十 字 奉 仕 団	朝日町	S 51. 4. 18	井口 一美	10	0	2	162	164
47	舟 橋 村 赤 十 字 奉 仕 団	舟橋村	S 58. 6. 10	老田ひさ子	0	0	0	42	42
48	上 市 町 赤 十 字 奉 仕 団	上市町	S 56. 11. 30	深川 紀子	0	0	0	30	30
49	立 山 町 赤 十 字 奉 仕 団	立山町	S 57. 5. 19	釈永 静子	12	0	34	198	232
合 計							201	2,763	2,964

イ 青年奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山県青年赤十字奉仕団	S 61. 3. 15	藤崎 啓介	0	0	4	13	17
合 計						4	13	17

ウ 特殊奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山赤十字点訳奉仕団	S 35. 6. 19	植野 直美	0	0	1	9	10
2	富山赤十字災害救援奉仕団	S 50. 12. 22	休 団	—	—	—	—	—
3	富山赤十字病院奉仕団	S 53. 7. 16	岡本由美子	0	0	0	3	3
4	富山赤十字芸能奉仕団	S 55. 8. 5	石畑 幸子	0	0	0	10	10
5	ともしび赤十字奉仕団	S 60. 3. 30	氷見 治代	0	0	0	51	51
6	富山県無線赤十字奉仕団	H 13. 10. 15	山口 康司	0	0	28	11	39
7	富山県青少年赤十字賛助奉仕団	H 14. 1. 16	小林 福治	0	0	19	6	25
合 計						48	90	138

(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員（令和5年4月～令和7年3月）

名誉委員長 山下 和夫（伏木赤十字奉仕団名誉委員長）

委員長 岡崎 智子（地域奉仕団・富山地区選出）（八尾町赤十字奉仕団委員長）

副委員長 石須 大雄（地域奉仕団・高岡地区選出）（伏木赤十字奉仕団委員長）

〳 石原 雅雄（地域奉仕団・新川地区選出）（滑川市赤十字奉仕団委員長）

〳 中西 順子（地域奉仕団・砺波地区選出）（小矢部市赤十字奉仕団委員長）

〳 山口 康司（特殊奉仕団選出）（富山県無線赤十字奉仕団委員長）

常任委員 中村ひとみ（地域奉仕団・富山地区選出）（白菊赤十字奉仕団委員長）

〳 森越美智子（地域奉仕団・高岡地区選出）（十二町赤十字奉仕団委員長）

〳 清水 晴乃（地域奉仕団・新川地区選出）（宇奈月赤十字奉仕団委員長）

〳 大宅 京子（地域奉仕団・砺波地区選出）（南砺市城端赤十字奉仕団委員長）

(3) 主な奉仕団関係行事

実施日	事業名	摘要
3月～6月	各赤十字奉仕団総会	県内各地 支部職員18団に出席
4/14	赤十字奉仕団担当者研修会	日赤県支部（WEB 会議） 塚本係長出席
4/25	赤十字奉仕団富山県支部委員会	呉羽ハイツ 44名出席
5月～	赤十字運動月間キャンペーンPR活動 （6月以降）赤十字広報PR活動	32/44奉仕団 各地区ショッピングセンター等で実施 ティッシュ・チラシ 10,985部を配布
5月～	在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動	43/44奉仕団 各地区で実施（手紙用紙7,013枚印刷） ティッシュペーパー 高齢者6,926名を訪問
5/13	第1回青年赤十字奉仕団全国協議会	日赤本社（Web） 三俣団員出席
5/18	庄川町赤十字奉仕団40周年記念式典	庄川農村環境改善センター 大坪事務局長、坂井事務局付部長出席
5/18	全国赤十字大会	明治神宮会館 奉仕団員7名参会
5/23	富山県水防協議会	富山県庁 岡崎委員長回答
5/30	立山町赤十字奉仕団40周年記念式典	立山町元気交流ステーション 坂井事務局付部長出席
5/30～6/1	赤十字月間社資DM発送作業奉仕	日赤県支部 白菊奉、新庄北奉延べ32名協力
6/1～2	赤十字奉仕団中央委員会	日赤本社 岡崎委員長出席
6/9	支部施設合同災害救護訓練	富山赤十字病院 南砺市福野・福光・井波・城端・井口・ 平・上平・利賀・砺波市・庄川町・小矢 部市奉 各1～2名 岡崎委員長協力
6/10	日本赤十字社富山県支部評議員会	A N Aクラウンプラザホテル 中村委員、竹苗委員（各市から選出）
6/10	福岡町赤十字奉仕団40周年記念式典	福岡町にぎわい交流館 岡崎委員長、林事業推進課長出席
6/10～11	日本赤十字社第3ブロック青年赤十字 奉仕団代表者及び担当者会議	日赤福井県支部 三俣団員、清水主任出席
6/13	赤十字奉仕団研修部会・常任委員会	日赤県支部 15名出席
6/19～20	日本赤十字社第3ブロック青少年赤十字 賛助奉仕団協議会	長野県 小林委員出席
7/5	赤十字奉仕団担当者研修会	日赤県支部（WEB 会議） 清水主任出席
7/7	赤十字奉仕団研修会 （富山、新川、特殊対象）	サンシップとやま 48名出席
7/11～12	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	日赤本社 小林委員出席
7/19	赤十字奉仕団研修会（高岡、砺波地区）	高岡市ふれあい福祉センター 44名出席
7/28	献血運動推進富山県大会（表彰式）	富山県庁 出席者を限定して開催
8/2～3	青少年赤十字トレーニングセンター	砺波青少年の家 青少年赤十字賛助奉延べ10名協力
8/5	プロジェクト型活動研修会	日赤本社（Web） 任海委員、石原委員、山口委員出席
8/26～28	赤十字ボランティア・リーダー研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター 釈永委員参加

実施日	事業名	摘要
9 / 6 ~ 7	日本赤十字社第3ブロック赤十字奉仕団委員長及び担当者会議	日赤県支部（岐阜県支部当番） 岡崎委員長、清水主任出席
9 / 27	富山県総合防災訓練	高岡市他高岡南部丸美奉、高岡中央奉、無線奉参加
10 / 3 ~ 5	赤十字奉仕団研修旅行	九州 中止
10 / 5	第35回富山県民ボランティア・NPO 大会	サンシップとやま ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰 竹苗委員、森委員、無線奉、青少年赤十字賛助奉受章
10 / 17	赤十字奉仕団常任委員会	日赤県支部 7 名出席
10 / 23	プロジェクト型活動研修会（2 回目）	日赤本社（Web） 任海委員、石原委員出席
11 / 7	赤十字奉仕団委員長会議	呉羽ハイツ 42名出席
12 / 1 ~ 25	N H K 海外たすけあい	県内実績 564件 4,040,153円
12 / 12	赤十字奉仕団とやま39号編集委員会	日赤県支部 4 名出席
2 / 6	日本赤十字社富山県支部評議員会	A N A クラウンプラザホテル 岡崎委員長、竹苗委員出席
2 / 28	赤十字奉仕団常任委員会	日赤県支部 7 名出席
2 / 28	赤十字奉仕団とやま39号編集委員会	日赤県支部 5 名出席
3 / 18	プロジェクト型活動研修会（3 回目）	日赤本社（Web） 石原委員、山口委員出席

－活動推進奉仕団指定（支部指定）－

◇愛五赤十字奉仕団

テーマ 広報活動

タイトル 「美味しい珈琲の淹れ方教室&フードドライブに協力&団員募集」

◇富山県無線赤十字奉仕団

テーマ 広報活動

タイトル 「大学祭における通信訓練実施と赤十字活動の P R」

◇代表 南砺市福野赤十字奉仕団

（城端、平、上平、利賀、井波、井口、福野、福光各奉仕団による合同実施）

テーマ 防災

タイトル 「「もし、災害が起きたら？」～避難所の開設と運営を学ぶ～」

－奉仕団とやま39号（令和5年度号）編集委員－

岡崎（八尾町）、石原（滑川市）、森越（十二町）、大宅（南砺市城端）、
金田（高岡南部丸美）、中才（魚津市）、黒畑（新庄）、岩城（南砺市井波）

－ 令和 5 年度献血実績 －

令和 5 年度目標		令和 5 年度実績
730人	(200mL)	1,105人
23,920人	(400mL)	25,757人
11,300人	(成分)	11,158人

(4) 奉仕団活動内容

ア 地域奉仕団

- 青少年赤十字との連携活動 ○ 街頭献血の呼びかけ
- 施設訪問（除草・花苗植え） ○ 炊き出し訓練
- 赤十字社資募集
- 国内外災害等の義・救援金の募集
- 救護（イベント等）
- 救急法・健康生活支援講習等安全講習の受講
- 在宅ひとり暮らし高齢者訪問 ○ 交通安全指導
- 交通安全マスコット人形作り
- 病院案内等ボランティア
- NHK海外たすけあい募集



イ 青年奉仕団

- 街頭献血の呼びかけ ○ 子ども食堂の運営補助

ウ 特殊奉仕団

◎ 富山赤十字点訳奉仕団

- 視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する団員が、わずかな余暇をさいて1冊でも多くの本を点訳しようと努力している。
- 令和5年度はパソコンによる点訳図書データ14タイトルを作成、富山視覚支援総合学校へ贈呈した。
- 日赤県支部において点訳個人指導および点字校正を実施した。

◎ 富山赤十字芸能奉仕団

踊り、腹話術、大正琴などの芸能をもって県内の社会福祉施設を訪問した。

◎ 富山赤十字病院奉仕団

週2回病院の1室において、ガーゼたたみ、綿球作り、手術材料作り等の奉仕作業を行った。

◎ ともしび赤十字奉仕団

富山赤十字病院受付にて総合案内や来院者の検温、新型コロナウイルスワクチン接種補助、イベント等への臨時救護奉仕、研修等を積極的に行った。

◎ 富山県無線赤十字奉仕団

富山県総合防災訓練をはじめとし、災害に備え他県のアマチュア無線家と通信訓練を行うため研修を行った。

◎ 富山県赤十字青少年赤十字賛助奉仕団

県内小・中・高校等を訪問し、青少年赤十字の加盟普及・活動促進を行った。

(5) **赤十字奉仕団活動に基づく表彰**

●銀杯感謝状（継続 5 年）

【奉仕団委員長】

杉山 由美（蜷川赤十字奉仕団）

小川 和子（射水市大島赤十字奉仕団）

出戸端淑子（黒部市石田赤十字奉仕団）

中西 順子（小矢部市赤十字奉仕団）

大野 幸恵（山室赤十字奉仕団）

5 青少年赤十字（Junior Red Cross）

青少年赤十字（JRC）は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解するとともに、進んで赤十字運動に参加し、一人ひとりが世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校に組織され活動している。

この目的を達成するため、次の三つの実践目標と態度目標のもと、人間性豊かな児童生徒を育てる教育活動の一つとして取り組んでいる。

実践目標

① 健康・安全

命と健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養うことを目指す。

② 奉仕

人間として、集団生活（社会）の中の一人としての社会的な責任を自覚し、人のために奉仕する心と実行力を養う。

③ 国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

態度目標 「気づき、考え、実行する」

自らの生活または社会の問題やニーズに「気づき」、その原因と解決のための道筋や方法を「考え」、問題解決のために具体的な活動を「実行する」ことの大切さを意識づけることを目指している。

本年度は249校の加盟校、52,564人のメンバーを有し、先生方の指導のもとに一層の充実発展に努めた。

(1) 青少年赤十字加盟状況

校 種	校 数	メンバー数
幼稚園・保育園	13	1,151
小 学 校	139	26,167
中 学 校	74	22,611
義務教育学校	3	410
高 等 学 校	15	2,023
特別支援学校	5	202
計	249	52,564

市町村別加盟校数

市町村	小学校	中学校	義務教育 学 校	高等学校	幼稚園 保育園	特別支援 学 校	計
富 山 市	59	26		4	3	3	95
高 岡 市	23	11	1	6	9	1	51
魚 津 市		2		1			3
氷 見 市	9	4	1	1			15
滑 川 市	3	2					5
黒 部 市	4	2					6
砺 波 市	5	4				1	10
小 矢 部 市	2	4					6
南 砺 市	1	7	1	1			10
射 水 市	15	6			1		22
入 善 町	3	2		1			6
朝 日 町	2	1					3
舟 橋 村	1	1					2
上 市 町	6	1		1			8
立 山 町	6	1					7
合 計	139	74	3	15	13	5	249

令和6年3月31日現在

— 38 —

(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員

会 長 鳥内 禎久（高岡市立野村小学校校長）

副会長 小竹 信成（射水市立射北中学校校長）

〃 藤田 俊英（県立氷見高等学校校長）

(3) 講習会等の開催

ア 指導者のために行ったもの

メンバーの活動が自主的、かつ、活発に行われるためには、指導者の赤十字に対する深い理解と認識にもとづく適切な指導が必要である。

そこで支部では、青少年赤十字に関する研究会や講習会への参加をすすめ、指導者の育成に努めている。

1) 本社主催

月 日	行事名	開催地	備 考
5 / 26～28	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター指導者養成講習会	東京都	宮崎 由衣（射北中） 金田 千華（新川高） 石美由美子（大門中） ※指導スタッフとして参加
6 / 30	青少年赤十字全国指導者協議会	日赤本社	会長 鳥内 禎久
1 / 12	指導主事対象青少年赤十字活動研究会	日赤本社	古川 順子 （東部教育事務所主任指導主事）

2) ブロック主催

・第3ブロック指導者協議会

6月2日、静岡県主催により Web 形式で開催され、鳥内会長、支部職員が参加し、情報交換並びに青少年赤十字活動普及方策について協議した。

3) 支部主催

・富山県青少年赤十字指導者協議会理事会・総会

5月24日、富山県支部を会場に開催し、活動実践校の指定やトレセンの開催などすべての議案は承認された。（出席理事等23人、ほか委任状）

・青少年赤十字活動研究会

1月25日に開催予定であったが、令和6年1月能登半島地震への対応のため、やむなく中止とした。

イ メンバーのために行ったもの

1) 本社主催

- ・ 青少年赤十字スタディー・プログラム

J R C 活動の中心となるリーダーを養成するため、5 日間の日程で山中湖畔を会場に開催し、富山県支部からは、指導者 1 名が参加した。

2) 支部主催

- ・ リーダーシップ・トレーニング・センター

例年、県内の青少年赤十字加盟校より、小・中・高等学校別に参加者を募り、青少年赤十字のリーダー養成を目的として実施している。令和 5 年度は、1 泊 2 日の日程で、次の通り実施した。

また、メンバーの指導にあたった指導者（教員）は、小・中・高合わせて 46 名の参加となった。

校 種	会 場	参加人数	月 日	備 考
小学校	砺波青少年自然の家	48人	8 / 2 ~ 3	1 泊 2 日
中学校		35人		
高等学校		15人		

(4) 青少年赤十字活動実践校

青少年赤十字加盟校における活動の活性化を図ることを目的として、年間10校程度を指定し、各校のボランティア活動等既存の取組みも含め J R C の実践・態度目標に沿った活動を促進し、これを広く紹介することで青少年赤十字が学校教育に取り入れやすくなるよう努めている。

令和 5 年度指定校

- ・ 朝日町立朝日中学校 ・ 富山市立興南中学校 ・ 氷見市立北部中学校
- ・ 小矢部市立大谷中学校 ・ 滑川市立東部小学校 ・ 富山市立中央小学校
- ・ 射水市立作道小学校 ・ 高岡市立成美小学校 ・ 荒井学園新川高等学校

実践報告集の発行 令和 6 年 3 月

(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団

次のとおり青少年赤十字の育成・支援に協力した。

月 日	行 事 名	場 所	備 考
6 / 19～6 / 20	第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会	長野県	委員長
7 / 11～12	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	日赤本社	委員長
8 / 2～3	青少年赤十字トレーニング・センター協力	砺波青少年自然の家	団員
年間通して	加盟勧誘・講演等	県内各学校	団員

(6) 青少年赤十字指導講師

平成13年に青少年赤十字活動の普及を目的に「富山県青少年赤十字指導講師設置要綱」を定め、以来上野紀一氏（元富山県青少年赤十字指導者協議会長）を指導講師に委嘱し、今年度も新規加盟勧誘や活動助言に努めた。

○訪問学校数 12校

(7) 青少年赤十字防災教育事業

青少年赤十字では、実践目標の一つである「健康・安全」のもと、防災教育を通して、自然災害から青少年が自らの健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭での防災意識を高めることにより、一人ひとりが人間のいのちと健康、尊厳を守ることにつながるよう、プログラム及び教材の開発、研究を進めている。

日本赤十字社は、小・中・高校生を対象とした防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び幼稚園・保育園向けの「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を作成し、加盟校への配付や研修会での活用を行っている。

6 社会福祉活動

(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動

地域奉仕団が中心となり、活動を行う地域に居住する在宅ひとり暮らし高齢者宅を訪問している。この活動は、昭和52年から富山県の赤十字奉仕団が独自で行う社会福祉活動として46年間継続して実施している。



なお、平成28年度からは、春のみ年1回の実施とした。

また、高齢者と奉仕団員の双方が新型コロナウイルスによる感染を防ぐため、活動時には①必ずマスクを着用する②長時間の滞在はなるべく避ける③少しでも体調が優れない奉仕団員は、活動への参加を見合わせるの3点に注意するとともに、地域の感染状況を十分に注視しつつ慎重に実施した。

在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動実績

年度	対象人数[春] (人)	対象人数[冬] (人)	経費[春・冬合算] (円)	持参品 [春]	持参品 [冬]	対象となるひとり暮らし高齢者
S 52	600～700		不明	花鉢		全員
S 53	(詳細不明)		不明	花鉢	足袋カバー	70歳以上
}						
H 4	4,260	4,365	4,790,320	花鉢	靴下	71歳以上
H 5	4,172	4,279	4,498,483	〃	〃	72歳以上
H 6	4,262	4,300	4,742,426	〃	〃	73歳以上
H 7	4,215	4,261	5,989,451	〃	〃	74歳以上
H 8	4,225	4,335	4,395,852	〃	〃	75歳以上
}						
H 26	9,898	9,971	6,922,494	ティッシュ5箱	靴下	75歳以上
H 27	7,640	7,148	5,071,555	〃	〃	80歳以上
}						
R 3	7,740		2,110,694	ティッシュ5箱		80歳以上
R 4	7,937		2,136,991	〃		〃
R 5	6,926		2,035,283	〃		〃

(2) 身体障害者への援護

身体障害者を激励し、自立の意欲を高めるため、富山県点字競技大会に助成を行った。

7 救護看護師の養成

(1) 日本赤十字豊田看護大学

平成16年愛知県豊田市に開学した日本赤十字豊田看護大学への支部長推薦入学等による本県からの在学者4名に奨学金の助成を行った。

8 国際活動

世界各地で、洪水・地震など大きな災害の発生や紛争・内乱などによる被災者・難民が、また発展途上国の多くの国々では貧困・疾患などで苦しんでいる人々が援助を求めている。赤十字は191の国に広がる世界的ネットワークを生かし、様々な支援活動を行っている。

富山県支部では昭和62年のネパール給水施設整備に始まり、その後の国際支援活動に第3ブロックの各県支部と共同で拠出金を支出している。第3ブロックの送金総額2,000万円のうち、富山県支部は130万円を支出した。

令和5年度 富山県支部参加国際活動事業一覧

事業名	事業内容	事業期間	日赤第三ブロックの支出総額	富山県支部の支出総額
レバノン プライマリー ヘルス・スケールアップ事業	平成23年にシリアで発生した国内紛争が拡大し、隣国レバノンへ流出した難民は劣悪な環境で避難生活を続けている。これまで水・衛生分野、保健医療の支援を実施してきたが、令和4年4月からはレバノンにおけるプライマリーヘルス・センターの主に設備の改修等の支援を行う。	単年度支援 (平成28年度からの事業)	8,000,000円 (令和5年度)	520,000円 (令和5年度)
アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業	洪水やサイクロンが多発している地域に、災害時迅速に給水・衛生活動が展開できるように「給水・衛生キット」を備蓄する。また、現地赤十字社のスタッフやボランティアを対象として機材のフォローアップ及び研修を継続的に支援している。	単年度支援 (平成22年度からの事業)	6,000,000円 (令和5年度)	390,000円 (令和5年度)
東アフリカ地域 地域保健強化事業	自然災害や紛争、テロの頻発、さらに保健指標の低さや貧困率の高さ等、さまざまな課題を抱えた東アフリカ地域住民の保健、水・衛生、防災に関する知識を向上させる。また、防災や保健に関するアニメ映画の上映や現地ラジオ放送を通して啓発活動を実施する。	単年度支援 (平成30年度からの事業)	6,000,000円 (令和5年度)	390,000円 (令和5年度)

○ **NHK海外たすけあい救援金募集**

アジア、アフリカ等の開発途上国での保健衛生の向上、災害対策及び災害発生予防対策、災害被災者及び難民を救援するため、12月1日から25日まで“あなたのやさしさを”をスローガンに、日本赤十字社、日本放送協会、NHK厚生文化事業団の共催で実施され、期間中全国の受付窓口にあたたかい寄付金が寄せられた。富山県支部では、赤十字奉仕団員や青少年赤十字メンバーが、ショッピングセンター等で積極的に募金呼びかけを行った。

- 全 国 84,339件 863,841,244円
- 富山県 564件 4,040,153円

9 医 療 事 業

富山赤十字病院は、地域における公的医療機関として地域医療の充実と医療水準の向上に努めるとともに、災害時には、赤十字本来の業務として医師、看護師等からなる救護班を災害現場へ派遣し被災者の救護にあたる重要な任務を担っている。

このため、常に医療技術の向上と、施設・設備の充実を図るとともに、救護看護師の養成および救護訓練を実施するなど、赤十字病院としての特色を発揮しながら次の基本理念をもって、医療機関としての使命遂行に努めている。



人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基 本 方 針	患者さんの権利	患者さんの責務
<ol style="list-style-type: none">1 患者さん中心の医療を提供します2 より安全で高度な医療の実践を目指します3 地域医療に貢献する病院を目指します4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます5 次代を担う医療従事者を育成します6 働きがいのある病院運営に努めます7 健全経営の維持に努めます	<p>病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 個人の尊厳が守られる権利2 プライバシーが保障される権利3 適切な情報と説明を受ける権利4 自ら医療行為を選択する権利5 適切で最善の医療を受ける権利6 子どもたちが分かりやすく心のこもった医療を受ける権利	<p>医療は患者と医療者との協同作業です。より適正な医療提供のため、以下の責務について十分ご理解をいただき、ご協力をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 ご自身の健康状態に関する正確な情報をお伝えください2 医療者と力を合わせて診療に参加し、最大限の治療効果を発揮できるようにご協力ください。3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください4 受けた医療に対し、診療費をお支払いください。

(1) 富山赤十字病院

概要

- 第二次救急指定病院 ■人間ドック・健診施設機能評価認定施設
- WHO・ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」
- 厚生労働省臨床研修指定病院 ■富山県がん診療地域連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構認定病院 ■地域医療支援病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター） ■救急告示病院

ア 開 設 明治40年 5 月 1 日

イ 建物延面積 35,681.94㎡

ウ 診療科目27科

総合内科、腎臓・リウマチ・感染症内科、糖尿病・内分泌・栄養内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、高令心療科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、脳血管内治療科、呼

吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科

エ 病 床 数 401床

オ 外来患者数 210,354人（1日平均869人）

カ 入院患者数 113,268人（1日平均309人）

キ 健 診 活 動 (ア) 検診者数 9,589人

(イ) 人間ドック（1泊2日）611人

ク 医療社会事業活動 (ア) 健康教室 84回、324人（糖尿病、安産、禁煙）

(イ) 医療相談等 10,760件

(ウ) ボランティア活動 3,290時間

ケ 臨時救護活動

11月5日 富山マラソン（高岡市役所前～富岩運河環水公園）5名

コ 新型コロナウイルス感染症に対する対応

5月8日より新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症に引き下げられたことに伴い、コロナウイルス感染症専用病棟を閉鎖し、病棟の一部に専用病床10床を設け、実人数で260名の陽性患者を受入れた。

(2) 富山赤十字訪問看護ステーション

地域医療・福祉の向上に努めるため、在宅療養される方へ24時間体制で日常生活の看護及び家族介護の支援を行っている。

従事者（看護師・作業療法士） 10名

利用者数 214名

訪問延べ回数 7,527回

(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター

愛宕、安野屋地域を対象とし、介護予防の推進や総合相談業務、地域ケア体制の推進などの業務に取組み、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう支援している。

相談実件数 2,724件

(4) 富山赤十字ケアプラン事業所

介護サービスを受けるために必要な要介護申請代行や居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行っている。

相談実件数 1,279件

(5) 患者支援センター

平成29年10月に患者支援センターを開設した。

外来通院中から入院準備、入院治療、退院準備、退院後の外来通院という一連の流れを医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士等他職種が連携しサポートしている。

従来の地域医療連携室を深化させ、今後より地域のかかりつけ医や行政、介護サービスとの連携を密にし、病院の理念である「人道博愛の赤十字精神に基づく良質で安全な医療の提供」を実践できるよう努めている。

10 血 液 事 業

富山県赤十字血液センターは、昭和40年1月に開設以来、輸血用血液製剤を必要としている方のため、多くの献血者から善意の血液を受け入れ、安全性確認の検査を経て製造された輸血用血液製剤を毎日県内の医療機関に届けている。

広域事業運営体制（東海北陸ブロック血液センター）により、輸血用血液製剤の安全性の向上と安定供給の確保に努めている。

また、新型コロナウイルス感染症の流行を教訓として今後も新興感染症の拡大に備えた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関への協力要請するなど、献血者の確保に取り組むこととしている。

(1) 令和5年度実績の概要

ア. 献血実績

(単位：人)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
移動献血	707	21,094		
献血ルーム	398	4,663	7,059	4,099
合 計	1,105	25,757	7,059	4,099

イ. 供給実績

(単位：200mL 献血を1本として換算)

	200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
全血製剤				
赤血球製剤	1,042	48,984		
血漿製剤	25	8,736	2,152	
血小板製剤				65,735
合 計	1,067	57,720	2,152	65,735

(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査等の変更

・体重測定をお願い

献血会場では、令和5年5月1日からマリエ献血ルームにて献血にご協力いただく際、体重の測定をお願いしていたが、令和5年9月25日からはすべての献血会場において体重測定をお願いしている。

体重は1日の中でも変動を繰り返しており、活動内容によって左右されるので、献血前に測定をし、測定値をもとに献血種別の選択、適正な採取量を算出すること

でより安全に献血に協力していただける。

(3) 献血WEB会員サービス「ラブラッド」の募集

富山県赤十字血液センターでは、献血WEB会員サービス「ラブラッド」の募集を積極的におこなっている。この会員サービスのポイントは、献血の事前予約や事前問診回答、血液検査の確認がお持ちのスマホから可能となる。また、会員特典として献血の予約や献血にご協力をいただくことによりポイントを付与し20ポイントに到達された時点で素敵な記念品と交換ができるお得なサービスもある。未だ「ラブラッド」会員の登録をされていない方は是非ご登録をお願いいただき献血へのご協力をお願いしたい。

献血WEB会員サービス

ラブラッド

会員大募集

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、
事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、
接触機会の削減ができるので、安心で安全、より手軽に献血協力ができます。





献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能! 当日予約(3時間前)もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。

※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場ではできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。

※まだこちらで回答している内容では献血にご協力いただけるのではありませんので、献血会場にてお体のうれいさのために必ずお話しください。



血液検査の確認

血液検査結果が献血後2～5日程度でラブラッドの画面から確認できるようになります。ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



会員特典

ご協力いただいた献血履歴に応じて、ポイントがたまります。また、献血予約でも予約ポイントも付与されます。たまったポイントはオリジナル記念品と交換が可能です。

この他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。

ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。





※Apple App Store/Google Playは登録されたApple Inc./Google LLCの商標です。©Apple Inc./Google LLCの登録商標です。



日本赤十字社 富山県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

— 49 —

11 社会福祉事業

(1) 児童福祉施設

富山県立乳児院は、昭和27年から、社会的養護が必要な0歳からおおむね2歳までの乳幼児を預かり、24時間365日通して養育する富山県内では唯一の施設である。

養育目標を「子どもの権利と最善の利益を守る養育環境作り」、「家庭的養育や個別化の推進」と掲げ、衣類、寝具などの備品の個別化、食事、入浴、睡眠などの暮らしの流れ・いとなみ、四季折々の行事など日常的な家庭環境を提供し、子どもの健やかな成長を支援している。

令和5年度入所児童等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
措置入所初日在籍人数	14	15	15	14	14	13	15	14	16	15	16	17	178
措置入所所在籍延人数	420	440	441	434	425	398	410	434	477	490	464	504	5,337
一時保護委託受入人数	3	3	0	1	3	3	4	3	1	0	0	4	26
一時保護委託延人数	61	42	00	13	71	90	100	38	6	0	0	59	480
ショートステイ受入人数	0	2	0	0	1	0	1	0	2	1	1	0	8
ショートステイ延人数	0	11	0	0	4	0	3	0	4	3	6	0	31
病児・病後児保育児童数	0	0	0	0	14	9	12	14	14	11	17	15	106



12 会員の増強と社資の確保

日本赤十字社の活動資金は、会員から納入していただく「会費」と広く個人や法人あるいは団体から寄せられる「寄付金」から成り立っている。この「会費」と「寄付金」を合わせて「社資」と呼んでいる。

日本赤十字社富山県支部では、毎年5月を赤十字運動月間として、広く県民の皆様方に赤十字事業推進のため、会員加入を促進し、社資の増収に努めた。

(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及

ア 支部広報紙「赤十字富山」430,000部を地区区分区を通じ県下全世帯に配布した。

また、活動実績を中心とした「赤十字とやま」を年2回、市町村及び関係者に配付し、赤十字思想の普及と会員加入を呼びかけた（21地区区分区中16地区区分区で、自治会等の回覧に協力していただいている。）。

イ 本社からのポスター、リーフレット等を地区区分区等関係機関に提供し、運動月間における会員の増強について協力を依頼した。

ウ マスコミを通じての普及を図るため、テレビ局・ケーブルテレビ局及びラジオ局に本社より配布のCMテープ、ブルーレイ等を配布し、県民への周知方協力を依頼した。

エ 5月8日の世界赤十字デーを中心に、「レッドライトアッププロジェクト」を実施した。

県内での取り組み

○株式会社インテック（タワー111）

5月1日(月)～8日(月) 日没後～22：00まで 赤色照明

○NHK 富山放送局

5月8日(月) 日没後～24：00まで 赤色照明

(2) 会員の増強

ア 赤十字会員には、県民の皆さんがその趣旨に賛同され、会員に加入し、その能力に応じて会費を拠出していただく会員制度本来の姿が望ましく、この趣旨により、特別社員以上の会員の増強に努めた。

イ 個人篤志者等に支部広報紙「赤十字富山」を同封し、ダイレクトメールによって会費への協力を依頼した。

ウ 法人会員の増強については、新規法人の開拓を進めるとともに、災害救護事業等指定事業への協力をダイレクトメールにより依頼した。

エ 会員とのコミュニケーションを図り、感謝の気持ちを表すとともに引き続きの支援をお願いすることを目的として、寄付者に対し、お礼の電話をおかけした。

オ 会員に日本赤十字社会員誌「Cross com-BOOK」を送付し、会費の使途や活動報告を行った。

(3) 地区分区との協力体制の強化

会員の増強・社資の確保により、支部事業を推進するため、地区分区とのより緊密な協力体制の強化に努めた。

ア 地区分区委嘱職員研修会

令和6年3月13日に開催。日本赤十字社富山県支部において、地区分区委嘱職員に、令和6年度の支部事業、社資依頼額及び予算その他赤十字業務全般についての研修を行った。

(4) 企業とのパートナーシップ

赤十字の活動に継続的にご協力いただく企業・団体の皆様とパートナーシップを結び、共に社会に貢献する活動を行いながら、相互に発展できる関係の構築を推進している。

赤十字支援マークの使用

企業の広告媒体や商品等に赤十字支援マークを使用することによる赤十字活動への資金協力や赤十字寄付付き自動販売機の設置等、企業のCSR活動を推進した。

内 容	協力企業数
寄付機能付き自動販売機	3 社
ポイントによる寄付	2 社
売り上げの一部を寄付	1 社

(5) 遺贈寄付に関する協定締結

令和3年10月8日に株式会社北陸銀行と日本赤十字社富山県支部の間で、遺言を活用した遺贈寄付に関して連携する協定を締結した。

(6) 遺贈・相続財産の寄付セミナーの開催

令和5年11月11日、富山県民会館にて富山県司法書士会と共催、日本司法書士会連合会、富山地方法務局の後援で「相続・遺言のセミナー&相談会」を初開催した。当日は約40名が参加した。



(7) 社資功労感謝状伝達式

社資募集に貢献された個人・法人のうち金色有功章以上の表彰となる方々を対象に、県庁特別室において、社資功労感謝状伝達式を開催し、日本赤十字社富山県支部副支部長（富山県厚生部長）から感謝状が伝達された。

令和5年10月25日

厚生労働大臣感謝状	法人	1社
社長感謝状	個人	1名
〃	法人	6社
金色有功章	個人	6名
〃	法人	2社

令和6年3月22日

社長感謝状	個人	3名
〃	法人	1社
金色有功章	個人	1名
〃	法人	2社

(8) 富山県赤十字有功会総会

7月4日富山電気ビルにおいて、有賀副支部長（富山県厚生部長）はじめ多数の来賓をお迎えし、4年ぶりに対面で開催し、会員68名が参加した。

令和4年度事業報告、決算報告並びに令和5年度事業計画案、予算案について審議し承認された。

講演会では、永田円了氏（曹洞宗真国寺 住職）の「人生をゆさぶる」と題する講演を聴き、懇親パーティで交流を深めた。

(9) 全国赤十字大会

全国赤十字大会が5月18日に、名誉総裁皇后陛下を始め各名誉副総裁（秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃殿下）ご臨席の下、明治神宮会館（東京都）で開かれた。全国から会員ボランティア等関係者約1,600名が出席し、本県からも31名が参加した。

(10) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会

全国47都道府県の紺綬有功会、有功会会長をもって組織されている「日赤紺綬・有功会会長協議会」の総会が、全国から112名の参加のもと、10月12日～13日広島県において開催された。日赤本社から清家日赤社長、本県から梅田会長と富澤課長補佐が出席し、赤十字の社業振興等について協議した。

総会終了後、達川光男氏が「達川式一流リーダーシップ論と育成術～苦しみを笑いに変えて野球人生～」と題する講演を行った。

(11) 社資の募集実績

ア 社資募集実績額

（単位：円）

区 分			目 標 額	実 績 額	達成率(%)
社資総額			184,000,000	216,313,226	117.6
内 訳	一般社資	社 費	155,200,000	161,231,024	103.9
		寄 付 金	10,000,000	25,473,522	254.7
		指定事業社資	800,000	800,000	100.0
		合 計	166,000,000	187,504,546	113.0
	法人社資	指定事業	4,350,000	4,350,000	100.0
		そ の 他	13,650,000	24,458,680	179.2
		合 計	18,000,000	28,808,680	160.0

※上記の中には次の寄付金があります。

1. 病院指定 13,915,000円（個人 10,715,000円 法人 3,200,000円）
2. 乳児院指定 300,000円（個人 100,000円 法人 200,000円）

イ 社資功労受章者

○厚生労働大臣感謝状（個人）

清水 一夫（富山市） 安井 恒夫（富山市）

○厚生労働大臣感謝状（法人）

朝日印刷株式会社（富山市）

○ **日本赤十字社社長感謝状（個人）**

野澤 芳子（富山市） 石坂 啓輔（高岡市） 有沢 弘（射水市）
島崎 清信（小矢部市）

○ **日本赤十字社社長感謝状（法人）**

北商事株式会社（富山市） 津根精機株式会社（富山市）
富山県総合警備保障株式会社（富山市） 富山薬品株式会社（富山市）
プライムビジネススタッフ（富山市） 株式会社北陸銀行（富山市）
株式会社宮本工業所（富山市） 北陸電機製造株式会社（滑川市）
有限会社 KONISHI（東京都）

○ **金色有功章（個人）**

荒川 次春（富山市） 砂子阪和夫（富山市） 塚田 隆（富山市）
畠山 英信（富山市） 福田美津子（富山市） 小坂 秋子（高岡市）
中川 貢（高岡市） 矢竹芙美子（高岡市） 吉國 姫子（高岡市）

○ **金色有功章（法人）**

株式会社アクセス（富山市） 株式会社コマツ産業（富山市）
株式会社スカイインテック（富山市） 株式会社富山県義肢製作所（富山市）
日本特殊軽電株式会社（富山市） 松井製薬株式会社（富山市）
株式会社大和産商（高岡市） 株式会社かな和工業（南砺市）

※ ご意向を確認できた方のみ掲載しております。

13 赤十字思想の普及

支部では、各種の広報資料を活用し、赤十字に対する理解と協力を求めている。

(1) 事業を通じての広報

赤十字奉仕団および青少年赤十字による奉仕活動の推進を通しての広報のほか、地域・職場における献血や救急法等赤十字講習など実施の場合にも、チラシの配布、国際救援や赤十字活動を紹介する DVD の上映など、できる限りわかり易い方法で赤十字全般にわたる広報に努めた。

(2) マスコミを通じての広報

赤十字運動月間の CM を県内テレビ局、ラジオ局、ケーブルテレビ局に持参し、社業の浸透を図った。

(3) 刊行物等による広報

赤十字の P R 用として配付活用した資料は、次のとおりである。

(刊行物)

- 日本赤十字社会員誌「Cross com-BOOK」
- 赤十字運動月間ポスター
- 赤十字運動月間パンフレット
- 赤十字 NEWS（月 1 回発行）
- ACTION！防災・減災ポスター
- 広報紙「赤十字富山」（年 1 回発行 県内全世帯配布）
- 広報紙「赤十字とやま」（年 2 回発行）
- 令和 4 年度事業報告、令和 5 年度事業計画
- 救急法の基礎知識～備えあれば安心～
- 知っていれば安心です～心肺蘇生と AED～
- 手ではなそう
- 赤十字ボランティア活動ブックレット
- 赤十字ボランティア情報誌「RCV」（年 2 回発行）
- 機関紙「奉仕団とやま」（年 1 回発行）
- 青少年赤十字機関紙（小・中・高用）

- 青少年赤十字指導者手引
- 青少年赤十字指導情報
- 青少年赤十字ハンドブック
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター・ガイドブック
- 赤十字の父アンリー・デュナン
- ソルフェリーノの思い出
- 機関紙「JRC とやま」（年 1 回発行）
- 富山県青少年赤十字活動推進校研究報告書（年 1 回発行）

(4) 広報視聴覚資料一覧

題 名	内 容	時 間	制作年
赤十字この一年	赤十字の活動を網羅的に紹介	15分	毎年
赤十字の基本原則	赤十字基本原則をアニメーションで紹介	3 分	平成29年
赤十字の成り立ちと活動	赤十字の成り立ち、日本赤十字社の成り立ち、日本赤十字社事業を紹介	6 分	平成25年
「新型コロナウイルス感染症」まん延下での災害救護活動～貴島明日香の日本赤十字社リポート～	2020年 1 月から続く日赤の新型コロナウイルス感染症に関する知られざる対応と令和 2 年 7 月豪雨災害での活動を、インタビューを交えながら収録	27分	令和 2 年
バングラデシュ避難民に寄り添って～海外救援看護師のルポルタージュ～	2017年 8 月、ミャンマーで発生した大規模な暴力から逃れ、隣国バングラデシュに避難した70万もの避難民。その避難民が「ジャパンクリニック」と呼ぶ日本赤十字社の診療所で奮闘する海外救援看護師のルポルタージュ。	29分	令和 3 年

14 支部・施設間の連絡調整

支部・施設（病院、血液センター等）間の連絡調整を行い、赤十字事業推進の一体化と円滑なる運営を図るため、支部・施設業務連絡会議等を開催した。

- 支部施設業務連絡会議（年 1 回）
 - ・ 事業計画の推進 ・ 職員の人材育成、研修計画 ・ 職員合同採用
 - ・ 災害救護訓練 ・ 各施設の諸問題他
- (ア) 広報担当者部会（年 3 回）
- (イ) 研修担当者部会（年 1 回）
- (ウ) 災害救護等担当者部会（年 1 回）

15 日本赤十字社富山県支部役員名簿

令和6年4月1日現在

支 部 長		新 田 八 朗	富山県知事
副 支 部 長		有 賀 玲 子	富山県厚生部長
		藤 井 裕 久	富山県市長会長（富山市長）
		舟 橋 貴 之	富山県町村会長（立山町長）
監 査 委 員		笹 原 靖 直	富山県町村会副会長（朝日町長）
		三 條 孝 順	社会福祉法人陽光福祉会理事長
本社代議員（理 事）		久 和 進	北陸電力(株)相談役
本社代議員		朝 日 重 剛	朝日印刷(株)代表取締役会長
〃		山 下 和 夫	赤十字奉仕団富山県支部委員会名誉委員長
評 議 員（富山市地区）		西 田 政 司	富山市副市長
〃	〃	高 城 繁	富山市社会福祉協議会長
〃	〃	山 村 敏 博	富山市民生委員・児童委員協議会長
〃	〃	北 岡 勝	富山市自治振興連絡協議会長
〃	〃	高 道 裕 行	富山市共同募金委員会会長
〃	〃	土 肥 靖 子	富山市赤十字奉仕団代表
〃	〃	麻 畠 裕 之	富山市老人クラブ連合会長
〃	〃	和 田 麗 子	富山市母親クラブ連絡協議会相談役
〃	〃	中 村 ひとみ	富山市赤十字奉仕団代表
〃	（高岡市地区）	河 村 幹 治	高岡市副市長
〃	〃	角 玄 富 雄	高岡市連合自治会長
〃	〃	尾 崎 憲 子	高岡市社会福祉協議会長
〃	〃	田 辺 恵 子	高岡市地区赤十字奉仕団代表
〃	（射水市地区）	夏 野 元 志	射水市長
〃	〃	竹 苗 典 子	射水市地区赤十字奉仕団代表
〃	（魚津市地区）	村 椿 晃	魚津市長
〃	（氷見市地区）	林 正 之	氷見市長
〃	（滑川市地区）	水 野 達 夫	滑川市長
〃	（黒部市地区）	武 隈 義 一	黒部市長

評 議 員（砺波市地区）	夏 野 修	砺波市長
〃（南砺市地区）	田 中 幹 夫	南砺市長
〃（小矢部市地区）	桜 井 森 夫	小矢部市長
〃（新川厚生センター）	笹 島 春 人	入善町長
〃（中部厚生センター）	渡 辺 光	舟橋村長
〃（支部長選出）	中 井 敏 郎	富山商工会議所常議員
〃（ 〃 ）	岩 田 繁 子	富山県婦人会長
〃（ 〃 ）	岡 崎 智 子	赤十字奉仕団富山県支部委員会委員長
〃（ 〃 ）	梅 田 ひろ美	富山県赤十字有功会長
〃（ 〃 ）	鳥 内 禎 久	富山県青少年赤十字指導者協議会長

16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧

令和6年4月1日現在

	施 設 名	代 表 者 等	職員数
支 部	日本赤十字社富山県支部	事務局長 布野 浩久	10
施 設	富 山 赤 十 字 病 院	病院長 平岩 善雄	790
	（受託）富山県立乳児院	院 長 〃	27
	富山県赤十字血液センター	所 長 横川 博	42

資 料 I

地区分區別 活動狀況

17 救護装備品配備状況

地区区分	災害 救援車 (台)	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	H28～R元年度	H27年度	H24～25年度	H20～26年度	H18～19年度
		大型サーキュ レーター (車両更新)	大型サーキュ レーター	大型サーキュ レーター (車両更新)	大型サーキュ レーター (車両更新)	(車両更新)	救護所用 テント (車両更新)	発電機・AED・救護所 用テント・救急セット (車両更新)	炊き出し用 炊飯器 (車両更新)	救護所用 テント (車両更新)
富山市	1	3	17	18	5		2	AED (1)	9	49
富山市大沢野	※1	3						発電機	1	5
富山市大山	1	4						発電機	1	4 (1)
富山市八尾	1	3						救護所用テント	1	10
富山市婦中	※1	5	1				1	救護所用テント	1	9
富山市山田	※						(1)	救急セット	1	2
富山市細入	※							発電機 (1)		2
高岡市	1	5	7	7	3	(1)		発電機	6	26
高岡市福岡	1							発電機	1	1
魚津市	1	1	2	1 (1)	1			AED	1	16
氷見市	1	2	3	3	1	(1)	8	AED	4	20
滑川市	1	1	2	2	1	(1)	4	AED	1	5
黒部市	1	2	2	2 (1)	1		5	発電機	1 (1)	10
黒部市宇奈月	1		1					発電機 (1)	1	1
砺波市	1	2 (1)	2	2	1			発電機	1	19 (1)
砺波市庄川	1							AED	1	4
小矢部市	1	1	2	1	1	(1)		発電機	1	20
南砺市城端	1			1 (1)			1	発電機	1	1
南砺市平	1						1	AED	1 (1)	1
南砺市上平	1	1					1	AED	1	1
南砺市利賀	1							AED (1)	1	1
南砺市井波	1		1				2	救護所用テント (1)	1	1
南砺市井口	1	1						発電機	1 (1)	1
南砺市福野	1				1	(1)	2	発電機	1	1 (1)
南砺市福光	1		2	1		(1)	1	AED	1	2
射水市新湊	1	3	3	1				AED	1 (1)	2
射水市大島	1				1 (1)			発電機	1	1
射水市小杉	1		1	3				発電機	2	1 (1)
射水市大門	1				1 (1)			発電機	1	1
射水市下	1							発電機	1	1 (1)
入善町	1	1	1	2	1	(1)		救護所用テント	1	12
朝日町	1		1	1		(1)		AED	1	10
舟橋村	1			1				発電機	(1)	1
上市町	1	1	1	2	1			発電機	1	16
立山町	0	1	1	2	1			救護所用テント	1	11
合 計		40 (1)	50	50 (3)	20 (1)	(8)	28 (1)	35 (5)	50 (5)	268 (5)

※富山市大沢野と細入、婦中と山田が車両を共同利用

18 令和5年度地区・分区救援物資分置状況

地区分区	年度中交付数	毛布	綿毛布	緊 急 セット	タオル	鍋セット	カセット コンロ	安 眠 セット	石鹸
	年度末分置数								
富 山 市	交付数	8	3	10	210	2	4	0	5
	分置数	12	12	3	120	3	3	0	0
富山市大沢野	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	2	0	0
富山市大山	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	6	6	2	60	1	1	0	2
富山市八尾	交付数	0	0	0	30	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	2	0	2
富山市婦中	交付数	16	0	16	360	2	2	0	13
	分置数	10	8	4	190	2	2	0	1
高 岡 市	交付数	6	6	30	330	6	6	0	23
	分置数	20	10	10	240	6	6	0	10
魚 津 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	6	0	20
氷 見 市	交付数	113	0	53	580	53	53	0	0
	分置数	16	6	7	120	6	6	0	7
滑 川 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	6	2	60	2	2	0	2
黒 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	6	0	6
砺 波 市	交付数	12	5	6	110	6	6	0	0
	分置数	28	21	7	290	5	5	0	0
小 矢 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	0	3	60	1	1	0	0
南砺市(福祉課)	交付数	8	0	2	40	2	2	0	0
	分置数	20	18	10	200	5	5	0	5
南 砺 市 (平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
南 砺 市 (上 平)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
南 砺 市 (利 賀)	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	1	0	5
射 水 市	交付数	8	0	1	24	1	1	0	0
	分置数	20	20	4	200	4	4	0	20
新川厚生センター	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	8	8	3	140	2	2	0	18
入 善 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	16	13	6	160	4	4	0	2
朝 日 町	交付数	4	0	2	40	3	2	0	0
	分置数	15	10	3	80	2	2	0	2
上 市 町	交付数	2	0	1	10	1	0	0	0
	分置数	10	5	2	50	1	1	0	0
立 山 町	交付数	0	0	3	60	0	0	0	0
	分置数	30	6	4	160	3	3	0	0
令 和 5 年 度 合 計	年度中交付数	177	14	124	1,794	76	76	0	41
	年度末分置数	353	229	111	3,110	66	66	0	112

※令和5年度末に救援物資を分置している地区・分区のみ記載

19 救援物資交付状況

近年の県内大規模災害に対する救援物資交付状況

災 害 名	世帯数	人員	毛布	綿毛布	緊急セット	タオル	安眠セット	石鹸
入善高波災害（H20. 2）	26	53	62		65	900	40	76
南砺豪雨災害（H20. 7）	59	160	81	13	74	2,170		69
高岡市水害（H24. 7）	102	258	20	10	100	2,580		108
魚津大規模火災（H25.11）	9	22	37		8	150		
南砺市地滑り災害（H29. 1）	4	6	4	2	4	40		
小矢部市強風火災（R4. 3）	4	15	42		9	200		
高岡市大雨水害（R5. 7）	23	71			50	1,500		50
富山市大雨水害（R5. 7）	6	6			6	130		5
富山市婦中大雨水害（R5. 7）	13	13			13	260		13
氷見市地震災害（R6. 1）	50	134	100		50	500		

その他の災害に対する救援物資交付状況

地区区分	R 5			R 4			R 3			R 2			R 1		
	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金
富 山 市	10	14		11	5	4	4	4	2	4	5	2	5	10	3
富山市大沢野							1	2					2	6	
富山市大山										2	2				
富山市八尾	12	4	1										1	2	
富山市婦中	15	23		2	4	2	1	1	1	1	2		2	4	1
高 岡 市	31	83	1	22	47		5	13	1	2	4	1	3	11	
魚 津 市				3	9		2	4	1				2	4	
氷 見 市	54	143	1							3	10	3	2	4	
滑 川 市															
黒 部 市							1	1	1	2	2		1	1	1
砺 波 市	6	11					2	3		3	6	1	3	14	
小 矢 部 市							5	22		1	1	1	1	2	
南 砺 市	2	5	1	2	6	1	6	24		6	10	1	2	3	
射 水 市	1	6								12	25				
入 善 町													2	3	1
朝 日 町	3	3								1	1				
上 市 町	2	2	1	2	6	2				1	3				
立 山 町	3	8					1	2							
合 計	139	302	5	42	77	9	28	76	6	38	71	9	26	64	6

※交付実績のある地区・区分のみ記載

20 令和5年度講習実績一覧表

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	恵光学園	保護者・職員	40	幼児安全法
	にながわ保育園	職員	50	幼児安全法
	くまのこども園	職員	27	幼児安全法
	//	親子サークル	5	幼児安全法
	青い鳥保育園	職員	20	幼児安全法
	桜谷保育園	職員	40	幼児安全法
	新庄保育所	親子サークル・職員	5	幼児安全法
	岩瀬小学校	教職員	20	救急法
	//	児童	37	水上安全法
	奥田北小学校	教職員	30	救急法
	草島小学校	教職員	11	救急法
	呉羽小学校	教職員	38	救急法
	新庄北小学校	教職員	30	救急法
	新庄小学校	教職員	28	救急法
	中央小学校	教職員	25	救急法
	豊田小学校	教職員	35	救急法
	蜷川小学校	教職員	40	救急法
	荻浦小学校	教職員	17	救急法
	八幡小学校	教職員	18	救急法
	浜黒崎小学校	教職員	15	救急法
	針原小学校	教職員	16	救急法
	光陽小学校	教職員	30	救急法
	広田小学校	教職員	20	救急法
	藤ノ木小学校	教職員	50	救急法
	水橋中部小学校	教職員	15	救急法
	柳町小学校	教職員	20	救急法
	山室小学校	教職員	43	救急法
	山室中部小学校	教職員	30	救急法
	太田小学校	教職員・保護者	20	救急法
	古沢小学校	教職員・保護者	13	救急法
	//	児童	39	水上安全法
	寒江小学校	教職員・保護者	20	救急法
	芝園小学校	教職員・保護者	44	救急法
	宮野小学校	児童・教職員	344	救急法
	桜谷小学校	児童	105	水上安全法
	富山大学教育学部附属小学校	教職員	34	救急法
	北部中学校松風分校	教職員	26	救急法
	三成中学校	教職員	12	救急法
	//	生徒	28	救急法
	呉羽中学校	教職員	30	救急法
	興南中学校	教職員	19	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	新庄中学校	教職員	30	救急法
	西部中学校	教職員	23	救急法
	月岡中学校	教職員	14	救急法
	堀川中学校	教職員	40	救急法
	水橋中学校	教職員	16	救急法
	和合中学校	教職員	38	救急法
	山室中学校	生徒	179	救急法
	いずみ高校	いずみ高校看護科生徒・教職員	39	避難生活支援講習
	日赤富山県支部	いずみ高校看護科生徒・教職員	40	避難生活支援講習
	富山商業高校	生徒・教職員	26	救急法
	富山高校	教職員	18	救急法
	高志支援学校	教職員	35	救急法
	しらとり支援学校	教職員	15	救急法
	富山総合支援学校	教職員	51	救急法
	あいあいおくだの家	職員	15	救急法
	飯野タウンなごみ	職員	20	救急法
	くれは苑	職員	28	救急法
	//	職員	30	救急法
	//	職員	18	救急法
	//	職員	16	救急法
	品川グループ本社 タイヤセレクト富山	職員	40	救急法
	富山流通会館	職員	26	救急法
	富士薬品	職員	30	救急法
	県総合教育センター	新採養護教諭	4	救急法
	県総合体育センター	新規採用幼稚園・保育教諭	35	幼児安全法
	//	警察初任科生	39	水上安全法
	//	警察初任科生	45	水上安全法
	//	水泳指導員	59	水上安全法
	//	バレーボールコーチ	37	救急法
	//	職員	16	水上安全法
	県警察学校	警察官	10	救急法基礎
	//	警察官	10	救急法救急員養成
	太田公民館	ファミリーサポートセンター会員	4	幼児安全法
	藤ノ木公民館	ファミリーサポートセンター会員	2	幼児安全法
	豊田公民館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	呉羽公民館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	新庄北地区センター	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	蜷川公民館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	大久保児童館	親子	5	幼児安全法
	奥田地区センター	地域住民	35	救急法
	安養坊公民館	地域住民	15	避難生活支援講習
	向新庄公民館	向新庄東部長寿会員	21	健康生活支援講習

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	子育て支援センター	ファミリーサポートセンター会員	25	幼児安全法
	//	乳幼児とその保護者	19	幼児安全法
	健保組合連合富山会館	会員	56	健康生活支援講習
	市総合体育館	職員	11	救急法
	東富山温水プール	職員	19	水上安全法
	//	職員	12	水上安全法
	サンシップとやま	病児家族会	20	救急法
	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	90	救急法
	新庄北地区センター	保護者	20	救急法
	奥田公民館	保育補助者	10	幼児安全法
	大久保ふれあいセンター	ファミリーサポートセンター会員	8	幼児安全法
	富山赤十字病院 オンライン	のびのびサークル親子	10	幼児安全法
	//	のびのびサークル親子	6	幼児安全法
	日赤富山県支部	ともしび赤十字奉仕団	28	避難生活支援講習
	山室地区センター	山室赤十字奉仕団員	25	健康生活支援講習
	赤十字血液センター	中学生	4	救急法
	赤十字血液センター・マリエ献血ルーム	職員	21	救急法
	//	職員	23	救急法
	101件		3,040	
富山市大沢野	大沢野会館	保護者	56	救急法
	富山小林製菓	職員	33	救急法
	ウィンディ	職員	39	救急法
	//	職員	11	水上安全法
	4件		139	
富山市大山	大庄小学校	教職員	20	救急法
	職藝学院	学生・教職員	26	救急法
	2件		46	
富山市八尾	八尾行政サービスセンター	乳幼児をもつ家族・職員	7	幼児安全法
	檜尾小学校	教職員・保護者	13	救急法
	八尾公民館	児童・保護者	74	救急法
	3件		94	
富山市婦中	宮野小学校	教職員	15	救急法
	速星公民館	養護教諭	47	救急法
	//	養護教諭	49	救急法
	//	プールアルバイト	8	救急法
	//	プール管理者	62	救急法
	羽根公民館	自主防災会隊員	20	救急法
	ふれあい館	ファミリーサポートセンター会員	5	幼児安全法
	県スマート農業普及センター	農業関係者	102	救急法
	8件		308	
富山市山田	山田公民館	山田地域社会福祉協議会会員	40	健康生活支援講習
	1件		40	

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市細入				
高岡市	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	16	幼児安全法
	こどものその	保護者	9	幼児安全法
	横田小学校	教職員	15	救急法
	牧野小学校	教職員	35	救急法
	木津小学校	教職員	20	救急法
	能町小学校	教職員	25	救急法
	野村小学校	教職員	45	救急法
	二塚小学校	保護者・児童	50	救急法
	万葉小学校	保護者	16	救急法
	//	児童・保護者	44	水上安全法
	成美小学校	児童	50	水上安全法
	高岡向陵高校	生徒・教職員	47	救急法
	高岡商業高校	教職員	18	救急法
	//	生徒	19	救急法
	伏木高校	生徒	21	健康生活支援講習
	とやま生協西部センター	活動会員	8	健康生活支援講習
	トヨタモビリティ富山・Seul 高岡南	職員	12	救急法
	アクトス Will 高岡	職員	11	水上安全法
	県高岡総合プール	職員	15	水上安全法
	19件		476	
魚津市	新川高校	生徒・教職員	20	救急法
	健康センター	乳幼児とその保護者	32	幼児安全法
	つばめ児童センター	ファミリーサポートセンター会員	10	幼児安全法
	とやま生協東部センター	活動会員	8	健康生活支援講習
	大海寺新公民館	桃山いきいきサロン会員	32	健康生活支援講習
	トヨタモビリティ富山・魚津	職員	13	救急法
	西布施公民館	地域住民	25	救急法
	7件		140	
氷見市	ひみ中央こども舎	乳幼児とその保護者	6	幼児安全法
	余川営農研修館	乳幼児とその保護者	4	幼児安全法
	2件		10	
滑川市	早月加積認定こども園	養護教諭	18	幼児安全法
	西部小学校	教職員	23	救急法
	富山医療福祉専門学校	学生	19	救急法
	領家町公民館	地域住民	16	救急法
	市生涯学習センター	教職員	21	救急法
	滑川室内温水プール	職員	6	水上安全法
	6件		103	
砺波市	出町児童センター	児童厚生員	10	幼児安全法
	市温水プール	職員	10	水上安全法
	砺波青少年自然の家	学生ボランティア	12	救急法

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
砺波市	砺波青少年自然の家	スキーパトロール隊員	15	救急法
	砺波社会福祉会館	砺波市赤十字奉仕団	50	健康生活支援講習
	5件		97	
砺波市庄川	庄川農村環境改善センター	庄川町赤十字奉仕団	26	健康生活支援講習
	1件		26	
小矢部市	市総合保険福祉センター	小矢部市赤十字奉仕団	29	地域で支える認知症講習
	1件		29	
南砺市城端				
南砺市平				
南砺市上平	上平小学校	児童	64	水上安全法
	上平交流センター	上平奉仕団	7	救急法
	2件		71	
南砺市利賀				
南砺市井口				
南砺市井波				
南砺市福野	ア・ミューホール	保護者	45	救急法
	1件		45	
南砺市福光	福光児童館	ファミリーサポートセンター会員	20	幼児安全法
	1件		20	
射水市	片口小学校	児童・教職員	36	健康生活支援講習
	新湊高校	教職員	16	救急法
	いみず市民交流プラザ	保護者	54	救急法
	//	ファミリーサポートセンター会員	23	幼児安全法
	//	ファミリーサポートセンター会員	18	幼児安全法
	コストコ射水倉庫店	職員	15	救急法
	七美コミュニティセンター	地域住民	30	救急法
	新湊消防署	新湊中央赤十字奉仕団	24	健康生活支援講習
	8件		216	
入善町				
朝日町				
舟橋村	子育て支援センター	親子サークル・職員	10	幼児安全法
	1件		10	
上市町	働く婦人の家	上市町赤十字奉仕団	13	救急法
	1件		13	
立山町	釜ヶ淵公民館	親子・子育てサロンスタッフ	17	幼児安全法
	新川公民館	子育てサロン参加者・スタッフ	12	幼児安全法
	五百石四区公民館	地域住民	14	救急法
	林業カレッジ	受講者	10	救急法
	//	林業従事者	17	救急法
	5件		70	
合計	179件		4,993	

21 赤十字奉仕団 令和5年度主要地域活動 一覧（地域奉仕団・地区区分別）

富山市地区	富山市地区赤十字奉仕団 蛭川 清水町 愛五 白菊 四方 新庄 安野屋 山室 新庄北（柳町、堀川南休団） 計9団 506名
	ひとりくらし高齢者訪問活動（訪問人数） 824人（蛭川172人、清水町130人、愛五72人、白菊72人、四方70人、新庄65人、安野屋59人、山室120人、新庄北64人）
	地域防災・救護活動 蛭川 蛭川おやじ倶楽部キャンプ炊き出し ふるさとづくり三世代交流で炊き出し 住民運動会救護 清水町 地区防災会で炊き出し訓練 1回 地区防災会で避難誘導訓練 3回 白菊 呉羽小、池多地区で炊き出し訓練 四方 小学生（JRC）と炊き出し訓練 校下、市の訓練で炊き出し 新庄 市総合防災訓練で炊き出し 校下文化祭で炊き出し 住民体育大会救護 新庄北 ふるさとウォーク救護 防災訓練炊き出し（校下、市） 浜黒崎小児童炊き出し体験協力 防災研修会
	施設等奉仕作業 愛五 赤十字病院 延べ47人 白菊 赤十字病院 延べ88人 四方 ふるさとのあかり、一休庵（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 新庄 赤十字病院 延べ105人 公民館清掃 安野屋 赤十字病院 延べ48人 山室 赤十字病院 延べ98人 新庄北 赤十字病院 延べ143人
	献血呼びかけ 蛭川 ファボーレ 2回 清水町 ファボーレ 1回 愛五 ファボーレ 1回 白菊 大阪屋ショップ呉羽店 2回 四方 アピタ富山東店 1回 新庄 アピタ富山東店 1回 安野屋 ファボーレ 1回 山室 ファボーレ 2回 新庄北 アピタ富山東店 1回

富山市地区	特記活動	
	蛭川	ふれあい文化祭
	愛五	地区サマーフェスティバル
	白菊	交通安全マスコット作り
		石鹼フラワー作り
		文化祭バザー
	四方	交通安全マスコット作り、交通安全運動
		小学校（JRC）で授業
		小学生（JRC）とひとり暮らし高齢者訪問
	新庄	文化祭展示
山室	山室エールキャンドル協力	子供カーニバル協力
		長寿を祝う会協力
		文化祭展示
		ひとり暮らし高齢者への年賀状作り
	新庄北	オータム祭協力

富山市大山分区	大山赤十字奉仕団 41名	
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数）	
	198人	
	地域防災・救護活動	
	東町町内炊き出し	
	炊き出し訓練（奉仕団研修）	
	小原屋サロンでおはぎ作り	
	ボランティア交流会で炊き出し	
	施設等奉仕作業	
	はなさき苑 花苗植え・草むしり	
	未就学児夏祭り協力	
	献血呼びかけ	
	ファボーレ 1回	

富山市八尾分区	八尾町赤十字奉仕団 131名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 251人
	地域防災・救護活動 八尾ふれあいフェスティバル（炊き出し） 八尾小学校 PTA 親子災害時の講習 行事救護所（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	施設等奉仕作業 のりみね苑、椿寿荘 清掃12回 野積園 喫茶店 八尾園 障子張り
	献血呼びかけ ファボーレ 2回
	特記活動 小学生（JRC）とひとり暮らし高齢者訪問（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

富山市婦中分区	婦中赤十字奉仕団 48名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 159人
	地域防災・救護活動 団員研修会で炊き出し
	施設等奉仕作業
	献血呼びかけ ファボーレ 3回
	特記活動 ふれあい広場 in 婦中 ウイントレイク in 婦中

富山市山田分區	山田赤十字奉仕団 23名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 24人
	施設等奉仕作業 あざみ園シーツ交換26回
	献血呼びかけ ファボーレ 1回
	特記活動 花鉢・弁当宅配訪問 2回 文化祭協力 牛岳ランタンフェスティバル

高岡市地区	高岡市地区赤十字奉仕団 高岡南部丸美 伏木 中田 高岡中央 福岡町 計5団 332名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 544人（高岡南部丸美48人、伏木264人、中田56人、高岡中央0人、福岡町176人）
	地域防災・救護活動
	高岡南部丸美 炊き出し訓練（奉仕団研修） 地区（自治会）防災訓練 市防災訓練（炊き出し400食） 児童クラブカローリング大会で救護活動 敬老の日を祝う集いで救護活動 スポーツの日の交流会で救護活動
	伏木 100万人のごみ拾い救護班派遣 児童クラブふれあい地引網救護班派遣 伏木港まつり町流し救護班派遣 雨晴マリーナ救護所待機9日間 児童クラブ少年野球大会救護班派遣 児童クラブ少女バレーボール大会救護班派遣 伏木場所大相撲救護班派遣 古府校区住民運動会救護班派遣 児童クラブビーチボール大会救護班派遣 児童クラブ卓球大会救護班派遣 中田 小学生炊き出し体験（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 炊き出し訓練（奉仕団研修、防災教室、中田校下、各自自治体） 高岡中央 炊き出し訓練（奉仕団研修） 市防災訓練 高岡万葉まつり朗唱の会（救護等）

高岡市地区	施設等奉仕作業
	伏木 ふしき苑で球根・花苗植込み 2回 雨晴苑で除草作業 2回
	中田 長生寮、志貴野ホーム（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	福岡町 清楽園に手縫いの雑巾、ティッシュ、飲料寄贈 アルテン赤丸の敬老会にティッシュと飲料寄贈 さくら苑にティッシュ、飲料寄贈 かごめ苑に果物、菓子、飲料、ハンドタオル寄贈（2回） 公民館グラウンド除草 GO!GO!2023清掃ボランティア
	献血呼びかけ
	高岡南部丸美 イオンモール高岡 4回
	伏木 イオンモール高岡 3回、伏木コミュニティセンター 1回
	中田 イオンモール高岡 3回
	特記活動
	伏木 ひとり暮らし高齢者との集い （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 会報「帆ばしら」第55号発行
	福岡町 福岡小学校新入生に団員手作りの交通安全マスコット贈呈 ふれあい交流会 豪雨災害における炊き出し応援

魚津市地区	魚津市赤十字奉仕団 73名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 875人
	地域防災・救護活動 市防災訓練（炊き出し）
	施設等奉仕作業 あんどの里
	献血呼びかけ
	アップルヒル 5回
	ありそドーム 1回

氷見市地区	氷見市地区赤十字奉仕団 十二町 窪（朝日丘、東 休団） 計2団 46名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 111人（十二町27人、窪84人）
	地域防災・救護活動 十二町 能登半島地震災害における炊き出し協力（ふれあいスポーツセンター、灘浦小、いきいき元気館、石川県穴水町、石川県珠洲市） ふれあいウォークラリーで炊き出し訓練 防災講座 窪 ハイゼックスの作り方研修
	施設等奉仕作業 十二町 夏花壇用花苗作り協力 十二町地区内、社会福祉施設等4か所に花苗提供 地域花壇、サロン活動、寄せ植え体験 窪 施設奉仕（5回）
	献血呼びかけ ハッピータウン 窪（2回）

滑川市地区	滑川市赤十字奉仕団 56名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 190人
	地域防災・救護活動 市総合防災訓練 炊き出し研修
	施設等奉仕作業 清寿荘、カモメ荘、市社協
	献血呼びかけ プラント3 3回
	特記活動 障がい者・家族レクリエーション大会に協力 自宅で寄贈のための縫製作業

黒部市地区	黒部市地区赤十字奉仕団 宇奈月 黒部市石田 計 2 団 48名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 209人
	地域防災・救護活動 宇奈月 市防災訓練 地区防災訓練 黒部市石田 石田地区防災訓練 防犯パトロール
	施設等奉仕作業 黒部市石田 越之湖花苗の植え込み 黒部学園紙折り作業 2 回、新聞折り等 にいかわ総合支援学校 越野荘（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	特記活動 黒部市石田 石田公民館まつり（よもぎ団子作り）

砺波市地区	砺波市地区赤十字奉仕団 砺波市 庄川町 計 2 団 394名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 290人（砺波市214人、庄川町76人）
	地域防災・救護活動 砺波市 市防災訓練（救護班） 防災学習会 庄川町 防災訓練 炊き出し訓練
	施設等奉仕作業 砺波市 やなせ苑（話し相手、ひなまつり訪問） 総合病院ボランティア 庄川町 ケアポート庄川 除草
	献血呼びかけ 砺波市 イオンモールとなみ 6 回
	特記活動 砺波市 砺波市ボランティアフェスティバル協力 砺波市ボランティア活動紹介展 キラキラミッションイルミネーション装飾 出町地区配食サービス協力 庄川町 砺波市ボランティア活動紹介展 公民館まつりで活動紹介パネル展示

小矢部市地区	小矢部市赤十字奉仕団 54名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 298人
	地域防災・救護活動 市防災訓練（救急訓練、炊き出し訓練）
	施設等奉仕作業 清楽園
	献血呼びかけ 市役所 2回

南砺市地区

南砺市地区赤十字奉仕団			福野	福光	井波	城端	井口	平	上平	利賀
			計 8 団 324名							
ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数）										
697人（福野148人、福光236人、井波126人、城端118人、井口13人、平31人、上平 9人、利賀16人）										
地域防災・救護活動										
福野			市防災訓練（炊き出し） ゲートボール大会救護 2 回 カローリング大会救護							
井波			市防災訓練 地区防災訓練（高瀬、南山見・炊き出し） 文化祭炊き出し 老人クラブカローリング大会救護 南山見運動会救護							
城端			むぎやまつり救護 つごもりあったか鍋 南山田みなくるスポレク大会救護							
井口			生涯フェスタ炊き出し							
平			市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 全国高校スキー大会ふるまい鍋							
上平			炊き出し訓練							
全体			避難所運営研修会							
施設等奉仕作業										
福野			旅川デイサービス、福寿園				（新型コロナウイルスの影響で活動休止）			
福光			やすらぎ荘				（新型コロナウイルスの影響で活動休止）			
井波			マーシ園ボランティア いなみデイサービス、老人ホームいなみ				（新型コロナウイルスの影響で活動休止）			
城端			となみ総合支援学校交流会 2 回 城端別院清掃奉仕 特養きらら、老健うらら				（新型コロナウイルスの影響で活動休止）			

南砺市地区	井口 やすらぎ荘 2回 花椿 2回 井口デイサービスセンター 1回
	献血呼びかけ 福光福光庁舎 2回 特記活動 平 高齢者弁当配食 上平 高齢者配食サービス 文化祭で活動パネル展示 高齢者への年賀状発送 利賀 高齢者健康づくり事業としてデイサービスセンター喜楽に飲料水、ティッシュ提供 バス停美化活動 三世代ふれあいクッキング 高齢者配食サービス事業に協力 新そば祭りに協力

射水市地区	射水市地区赤十字奉仕団 下村 大江 大島 新湊中央（大門休団） 計5団 238名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 536人（下村10人、大江56人、大島40人、新湊中央430人） 地域防災・救護活動 下村 いみず女性ネットワーク（炊き出し・防災教室） 大江 地域振興会自主防災訓練 大島 炊き出し訓練（奉仕団研修） ふれあい祭り炊き出し訓練 ふれあいサロン炊き出し訓練 新湊中央 炊き出し訓練 施設等奉仕作業 下村 いみず苑 大江 大江苑 大島 いみず苑 大島中央公園ジョギングコース清掃 新湊中央 いみず苑 献血呼びかけ 大江 アルプラザ小杉 3回 大島 射水市役所 1回 アルビス大島 1回 特記活動 下村 資源回収 2回 ふれあい里祭り 海岸清掃

射水市地区	<div>大江</div> <div>地区文化祭 小杉小学校児童（JRC）とともにひとり暮らし高齢者と父子家庭への 手作り慰問弁当配布 地域ふれあいサロンへの協力</div> <div>大島</div> <div>使用済み切手収集</div> <div>新湊中央</div> <div>六渡寺海岸清掃に参加</div>
入善町分区分	<div>入善町赤十字奉仕団 109名</div> <div>ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 448人</div> <div>施設等奉仕作業 おあしす新川 除草</div> <div>献血呼びかけ 町役場 1回</div> <div>特記活動 愛の声掛け訪問 使用済み切手・書き損じはがき資源回収</div>
朝日町分区分	<div>朝日町赤十字奉仕団 167名</div> <div>ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 310人</div> <div>地域防災・救護活動 町防災訓練（新型コロナウイルスの影響で活動休止） 炊き出し訓練（奉仕団研修） 心肺蘇生と AED（奉仕団研修）</div> <div>施設等奉仕作業 つるさんかめさん、有磯苑（新型コロナウイルスの影響で活動休止）</div> <div>特記活動 地域見守り配食サービス事業（80歳以上295名に外注食を配食）</div>
舟橋村分区分	<div>舟橋村赤十字奉仕団 39名</div> <div>ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 25人</div> <div>地域防災・救護活動 炊き出し訓練 防災研修</div> <div>特記活動 白岩川豪雨災害ボランティア活動 能登半島地震における避難所でのボランティア活動</div>

上市町分 区	上市町赤十字奉仕団 32名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 600人
	地域防災・救護活動 地区防災訓練炊き出し
	施設等奉仕作業 四ツ葉園 常楽園 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 2回
	特記活動 高校生と NHK 海外たすけあい街頭募金の呼びかけ

立山町分 区	立山町赤十字奉仕団 216名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 337人
	地域防災・救護活動 炊き出し訓練（五百石、大森） 炊き出し実習（奉仕団研修） 町総合防災訓練で炊き出し 親子体験で炊き出し 避難所へ炊き出し 防災学習会（JRC）
	施設等奉仕作業 雷鳥苑
	献血呼びかけ 町役場 1回
	特記活動 釜ヶ淵地区地域子育てサロンで幼児安全教室を主催 豪雨災害における避難誘導、避難所へ炊き出し 地下道清掃 利田地区ふれあい食堂

資 料 Ⅱ

決算概要

(1) 令和5年度一般会計歳入歳出決算説明書

日本赤十字社富山県支部（単位：円）

歳 入							歳 出								
科 目	当初予算 (千円)	補正・流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 伸び率	前年比 伸び率	備 考	科 目	当初予算 (千円)	補正・流用	予算現額 (千円)	決算額(円)	予算比 伸び率	前年比 伸び率	備 考
1. 社 資 収 入	184,000	12,191	196,191	217,177,836	10.7%	-7.0%		1. 災害救護事業費	14,824	1,302,792	1,317,616	1,316,500,085	-0.1%	8929.8%	
(1) 一般社資収入	166,000	7,311	173,311	188,369,156	8.7%	-5.7%	指定寄付 病院 13,915千円 乳児院 300千円	(1) 災 害 救 護 指 導 事 業 費	8,738	2,231	10,969	10,668,790	-2.7%	29.9%	能登半島地震災害にかかる 医療救護班派遣 2,163千円
(2) 法人社資収入	18,000	4,880	22,880	28,808,680	25.9%	-14.4%	トルコ・シリア地震救援金 865千円 指定寄付・海外救援金を除く 社資 202,098千円	(2) 災害救護整備費	5,271	2,584	7,855	7,054,618	-10.2%	22.4%	避難所配備サーキュレーター 2,431千円 災害救援物資 (鍋セット・コンロ) 1,330千円
2. 委託金等収入	1,249	0	1,249	1,497,561	19.9%	20.0%		(3) 災害義援金 送 付 金	0	1,297,977	1,297,977	1,297,976,677	0.0%	皆増	7月7日からの大雨災害 義援金 11,138千円 能登半島地震災害義援金 1,286,839千円
(1) 委託金等収入	1,249	0	1,249	1,497,561	19.9%	20.0%	県物資備蓄倉庫等管理 業務委託金 1,498千円	(4) 救護看護師 指導養成費	815	0	815	800,000	-1.8%	33.3%	
3. 補助金及び 交付金収入	4,003	0	4,003	5,982,540	49.5%	23.9%		2. 社会活動費	36,917	0	36,917	32,588,899	-11.7%	2.2%	
(1) 補助金収入	0	0	0	0	-	-	施設整備交付金 2,496千円	(1) 救急法等普及費	8,543	0	8,543	6,900,269	-19.2%	1.4%	
(2) 本社交付金収入	4,003	0	4,003	5,982,540	49.5%	23.9%	管理経費調整交付金 814千円 システム保守管理費等 2,651千円	(2) 奉仕団活動費	10,934	0	10,934	10,631,423	-2.8%	-0.2%	
4. 災害義援金 預り金収入	0	1,635,244	1,635,244	1,635,242,704	0.0%	皆増		(3) 青少年赤十字 活 動 費	9,963	-39	9,924	7,552,615	-23.9%	-5.2%	
(1) 資金繰入金収入	0	1,635,244	1,635,244	1,635,242,704	0.0%	皆増	7月7日からの大雨災害 義援金 11,138千円 能登半島地震災害義援金 1,624,105千円	(4) 社会福祉活動費	5,977	39	6,016	6,015,868	0.0%	19.6%	
5. 繰入金収入	0	865	865	864,610	0.0%	-93.2%		(5) 医療事業費	1,000	0	1,000	1,000,000	0.0%	0.0%	
(1) 資金繰入金収入	0	865	865	864,610	0.0%	-93.2%		(6) 血液事業費	500	0	500	488,724	-2.3%	11.2%	
(2) 事業準備積立金 繰入金収入	0	0	0	0	-	-		3. 国際活動費	1,300	865	2,165	2,164,610	0.0%	-84.6%	
6. 雑 収 入	1,517	0	1,517	947,773	-37.5%	-56.8%		4. 指定事業地方 振 興 費	800	865	1,665	1,664,610	0.0%	-87.2%	
(1) 利子収入	1	0	1	78	-92.2%	-17.0%		5. 地区区分区交付金 支 出	25,632	0	25,632	25,408,384	-0.9%	-2.1%	
(2) 負担金収入	1,456	0	1,456	798,125	-45.2%	32.0%	救急法等講習負担金	6. 社 業 振 興 費	28,206	449	28,655	28,652,584	0.0%	6.6%	
(3) 雑 収 入	60	0	60	149,570	149.3%	-90.6%		(1) 社 業 振 興 費	16,249	295	16,544	16,541,902	0.0%	13.1%	全国大会 1,737千円 遺贈・相続財産寄付に かかるパンフレット 作成 165千円
7. 前年度繰越金	31,000	0	31,000	50,212,464	62.0%	22.1%		(2) 広 報 活 動 費	11,957	154	12,111	12,110,682	0.0%	-1.1%	
(1) 前年度繰越金	31,000	0	31,000	50,212,464	62.0%	22.1%		7. 施設整備交付金・ 補 助 金 支 出	10,000	4,215	14,215	14,215,000	0.0%	-9.0%	病院・乳児院
								8. 積 立 金 支 出	33,302	337,267	370,569	370,268,394	-0.1%	1033.3%	
								(1) 資金積立金支出	27,021	0	27,021	27,021,000	0.0%	1.9%	施設整備準備資金 27,021千円
								(2) 事 業 準 備 積 立 金 支 出	0	337,267	337,267	337,266,027	0.0%	皆増	能登半島地震災害義援 金のうち、県へ未送金 分 337,266千円
								(3) 退職給与資金特別 会計積立金支出	6,281	0	6,281	5,981,367	-4.8%	-2.9%	
								9. 総 務 管 理 費	38,159	0	38,159	36,247,034	-5.0%	0.2%	
								(1) 評議員会等諸費	690	0	690	646,700	-6.3%	3.4%	
								(2) 総 務 管 理 費	36,816	0	36,816	34,992,814	-5.0%	-0.3%	
								(3) 監 査 費	653	0	653	607,520	-7.0%	27.9%	
								10. 資産取得及び 資 産 管 理 費	2,801	0	2,801	2,573,357	-8.1%	13.7%	
								11. 本社送納金支出	26,828	4,847	31,675	31,674,483	0.0%	-2.0%	
								12. 予 備 費	3,000	-3,000	0	0	-	-	
歳 入 合 計	221,769	1,648,300	1,870,069	1,911,925,488	2.2%	546.7%		歳 出 合 計	221,769	1,648,300	1,870,069	1,861,957,440	-0.4%	658.6%	

歳入決算額 1,911,925,488円 - 歳出決算額 1,861,957,440円 = 歳入歳出差引残高 49,968,048円

(2) 令和5年度医療施設特別会計決算説明書

1. 収益的收入及び支出

富山赤十字病院（単位：円）

収入科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)	支出科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)
1. 医 業 収 益	11,959,090,000	11,757,610,872	98.3	103.5	1. 医 業 費 用	12,045,398,000	12,599,660,108	104.6	106.4
(1) 入 院 診 療 収 益	8,231,340,000	8,021,472,125	97.5	102.9	(1) 材 料 費	3,329,872,000	3,677,073,728	110.4	105.9
(2) 室 料 差 額 収 益	110,000,000	103,580,450	94.2	114.3	(2) 給 与 費	5,923,567,000	6,030,200,124	101.8	103.9
(3) 外 来 診 療 収 益	3,169,716,000	3,203,671,212	101.1	105.6	(3) 委 託 費	831,109,000	928,303,332	111.7	105.6
(4) 保 健 予 防 活 動 収 益	385,264,000	356,342,386	92.5	94.6	(4) 設 備 関 係 費	503,483,000	453,402,400	90.1	94.2
(5) そ の 他 の 医 業 収 益	76,274,000	86,792,554	113.8	111.2	(5) 研 究 研 修 費	42,358,000	31,168,986	73.6	125.8
(6) 保 険 等 査 定 減	-13,504,000	-14,247,855	105.5	164.0	(6) 経 費	558,338,000	687,915,104	123.2	137.5
					(7) 減 価 償 却 費	856,671,000	791,596,434	92.4	117.3
2. 医 業 外 収 益	207,737,000	373,521,739	179.8	40.5	2. 医 業 外 費 用	17,484,000	16,045,611	91.8	75.5
(1) 受 取 利 息	1,242,000	2,254,792	181.5	100.8	(1) 支 払 利 息	458,000	457,303	99.8	100.0
(2) 運 営 費 補 助 金 等 収 益	28,475,000	206,956,579	726.8	28.3	(2) 看 護 師 等 委 託 養 成 費	480,000	480,000	100.0	14.3
(3) 施 設 設 備 補 助 金 等 収 益	98,039,000	95,084,471	97.0	85.1	(3) そ の 他 医 業 外 費 用	16,546,000	15,108,308	91.3	86.7
(4) そ の 他 の 医 業 外 収 益	79,981,000	69,225,897	86.6	88.2					
3. 医 療 社 会 事 業 収 益	400,000	224,000	56.0	89.2	3. 医 療 奉 仕 費 用	19,911,000	18,019,006	90.5	102.4
(1) 医 療 社 会 運 営 費 補 助 金 等 収 益	400,000	224,000	56.0	89.2	(1) 医 療 社 会 事 業 費	19,804,000	18,019,006	91.0	102.4
					(2) 社 会 活 動 費	107,000	0	0.0	0.0
4. 付 帯 事 業 収 益	109,928,000	116,057,776	301	106.4	4. 付 帯 事 業 費 用	125,966,000	132,864,659	105.5	106.9
(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	72,000,000	79,896,806	111.0	109.3	(1) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	77,069,000	79,881,421	103.6	106.4
(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 収 益	23,653,000	22,683,405	95.9	104.1	(2) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 費	25,100,000	27,062,944	107.8	107.6
(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 所 収 益	14,275,000	13,477,565	94.4	95.2	(3) ケ ア プ ラ ン 事 業 費	23,797,000	25,920,294	108.9	108.0
5. 特 別 利 益	0	693,900	-	-	5. 特 別 損 失	25,000,000	13,778,222	55.1	952.8
(1) そ の 他 特 別 利 益	0	693,900	-	-	(1) 固 定 資 産 除 去 損	25,000,000	13,778,222	55.1	952.8
					(2) そ の 他 特 別 損 失	0	0	-	-
					6. 法 人 税 等	188,000	-187,807	-99.9	-347.1
					7. 予 備 費	10,000,000	0	-	-
収益的收入合計	12,277,155,000	12,248,108,287	99.8	98.8	収益的支出合計	12,243,947,000	12,780,179,799	104.4	106.5

2. 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	前年度繰越 事業費充当額	予算額に比し 増減	内 訳
病 院 収 益	1,240,696,000	1,047,115,171	0	193,580,829	
1 固 定 負 債	10,000,000	13,315,000		-3,315,000	
					1 固 定 負 債 13,315,000
					(1) 借 入 金 0
					(2) リース未払金 0
					(3) 長期前受補助金等 13,315,000
					(4) その他固定負債 0
2 資産売却収入	0	0		0	
					2 資 産 売 却 収 入 0
					(1) 資 産 売 却 収 入 0
3 その他資本収入	1,230,696,000	1,033,800,171		196,895,829	
					3 そ の 他 資 本 収 入 1,033,800,171
					(1) 補 助 金 等 0
					(2) その他資本収入 1,033,800,171
資 本 的 収 入 合 計	1,240,696,000	1,047,115,171	0	193,580,829	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	内 訳
病 院 費	1,240,696,000	1,047,115,171	0	193,580,829	
1 固 定 資 産	1,234,987,000	1,041,406,600	0	193,580,400	
					1 固 定 資 産 1,041,406,600
					(1) 有形固定資産 570,713,300
					(2) 無形固定資産 470,693,300
2 借入金等償還	5,709,000	5,708,571		429	
					2 借 入 金 等 償 還 5,708,571
					(1) 借 入 金 等 償 還 0
					(2) リース未払金支払 5,708,571
					(3) その他負債返済 0
資 本 的 支 出 合 計	1,240,696,000	1,047,115,171	0	193,580,829	

(3) 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書

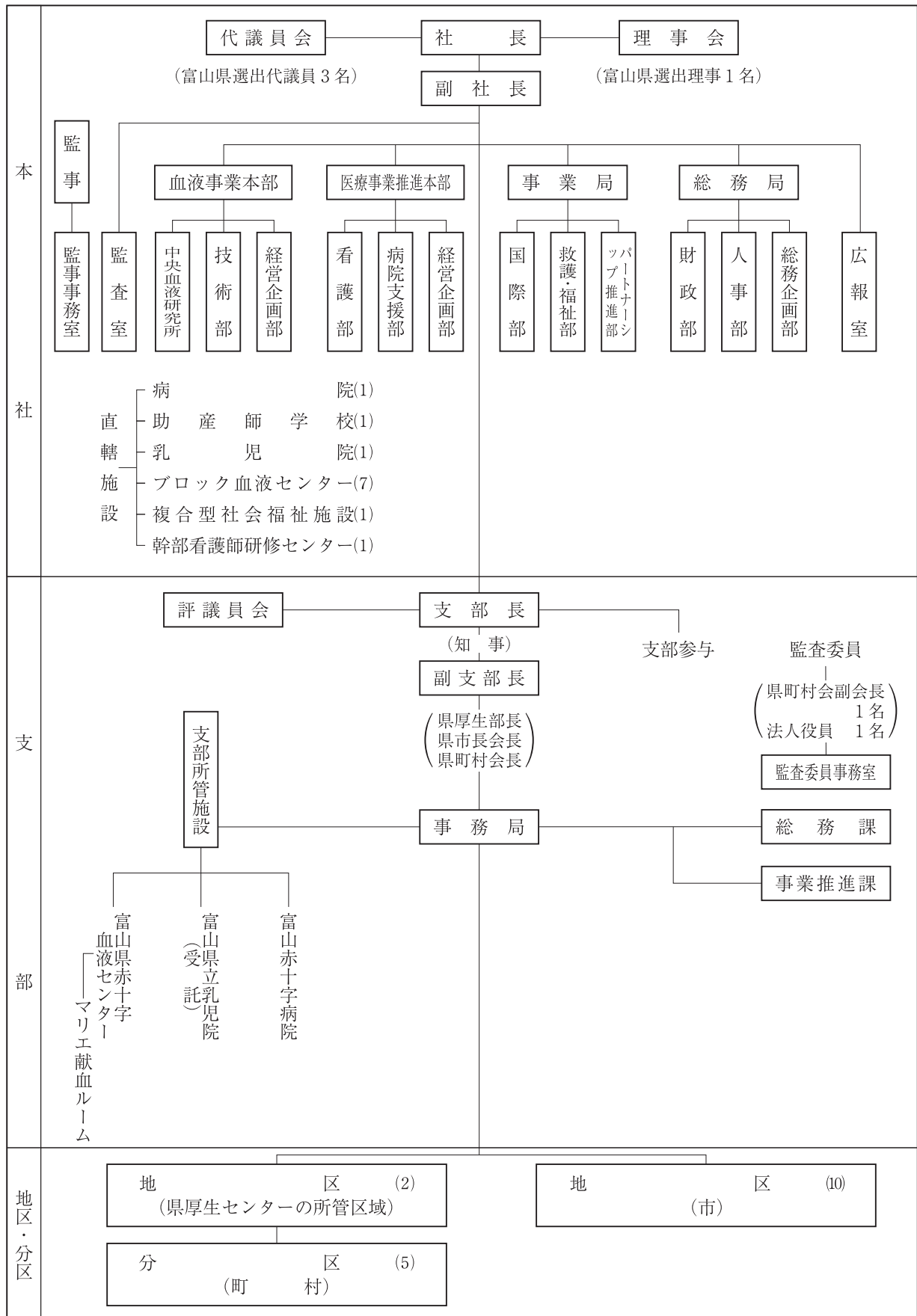
富山県立乳児院（単位：円）

収 入 の 部	予算現額	決算額	予算対比 伸び率	前年度比 伸び率	支 出 の 部	予算現額	決算額	予算対比 伸び率	前年度比 伸び率
事業活動による収入	176,412,000	171,079,941	△3.0%	3.7%	事業活動による支出	174,104,000	168,978,751	△2.9%	△11.3%
児童福祉事業収入	175,732,000	169,843,940	△3.4%	3.8%	人件費支出	154,719,000	145,889,606	△5.7%	△13.5%
受託事業収入	162,901,000	160,961,700	△1.2%	△1.4%	職員給料支出	73,235,000	72,697,387	△0.7%	3.2%
乳児院事業収入（県）	153,613,000	152,441,500	△0.8%	△1.1%	職員賞与支出	20,982,000	24,638,761	17.4%	0.6%
里親支援機関事業収入（県）	8,504,000	8,173,000	△3.9%	△2.8%	非常勤職員給与支出	32,543,000	26,197,032	△19.5%	△10.9%
短期入所生活援助事業（市） （富山市・射水市・氷見市・南砺市・魚津市・上市町）	784,000	347,200	△55.8%	△55.1%	退職給付支出	5,000,000	0	－	－
					法定福利費支出	22,959,000	22,356,426	△2.6%	△0.5%
補助金事業収入	12,831,000	8,882,240	△30.8%	2762.7%	事業費支出	12,488,000	14,182,043	13.6%	11.6%
病児・病後児保育補助金事業収 （富山市）	12,031,000	8,531,000	△29.1%	－	給食費支出	3,500,000	4,251,422	21.5%	41.8%
病児・病後児保育利用者等収入	800,000	212,000	△73.5%	－	保健衛生費支出	788,000	811,558	3.0%	△28.8%
新型コロナウイルス感染拡大 防止対策事業等収入（富山県）	0	0	－	－	被服費支出	30,000	72,752	142.5%	47.7%
その他の団体	0	72,400	－	22.7%	教養娯楽費支出	100,000	195,545	95.5%	119.6%
新型コロナ小学校休業対応助成金	0	66,840	－	－	水道光熱費支出	5,250,000	5,058,146	△3.7%	12.2%
経常経費寄附金収入	600,000	1,148,000	91.3%	△14.7%	消耗器具備品費支出	1,950,000	2,497,661	28.0%	△9.5%
経常経費寄附金収入	600,000	1,148,000	91.3%	△14.7%	賃借料支出	770,000	844,692	9.7%	5.9%
					雑支出	100,000	450,267	350.2%	22.3%
受取利息配当金収入	30,000	8,001	△73.4%	△63.0%	事務費支出	6,897,000	8,902,843	29.1%	△2.6%
受取利息配当金収入	30,000	8,001	△73.4%	△63.0%	福利厚生費支出	1,014,000	1,208,366	19.2%	12.2%
					職員被服費支出	10,000	13,144	31.4%	－
その他の収入	50,000	80,000	60.0%	6.7%	旅費交通費支出	150,000	693,288	362.2%	59.3%
受入研修費収入	50,000	65,000	30.0%	0.0%	研修研究費支出	200,000	243,077	21.5%	162.7%
雑収入	0	15,000	－	50.0%	事務消耗品費支出	500,000	374,669	△25.1%	△25.6%
利用者等外給食費収入	0	0	－	－	印刷製本費支出	0	12,540	－	－
					水道光熱費支出	500,000	479,449	△4.1%	2.9%
					修繕費支出	271,000	291,566	7.6%	△24.7%
					通信運搬費支出	850,000	996,271	17.2%	△15.6%
					会議費支出	5,000	673	△86.5%	△90.5%
					広報費支出	70,000	286,000	308.6%	△61.8%
					業務委託費支出	2,000,000	1,935,286	△3.2%	△12.3%
					手数料支出	183,000	140,470	△23.2%	△19.6%
					保険料支出	200,000	199,470	△0.3%	0.3%
					賃借料支出	84,000	81,180	△3.4%	1.9%
					租税公課支出	100,000	984,593	884.6%	1434.6%
					保守料支出	760,000	666,461	△12.3%	△31.8%
					雑支出	0	296,340	－	△55.8%
					支払利息支出	0	4,259	－	－
					支払利息支出	0	4,259	－	－
施設設備等による収入	0	0	－	－	施設設備等による支出	0	62,236	%	△45.8%
施設設備等補助金収入	0	0	－	－	施設設備等による支出	0	0	－	－
					ファイナンスリース債務の返済支出	0	62,236	－	－
その他の活動による収入	5,000,000	501,000	△90.0%	△97.7%	その他の活動による支出	7,308,000	6,727,185	△7.9%	△2.9%
他会計繰入金収入	0	501,000	－	△71.0%	その他の活動による支出	7,308,000	6,727,185	△7.9%	△2.9%
一般会計繰入金収入	0	501,000	－	81.8%	その他の支出	7,308,000	6,727,185	△7.9%	△2.9%
医療施設特別会計繰入金収入	0	0	－	－					
その他の活動による収入	5,000,000	0	－	－					
その他の収入	5,000,000	0	－	－					
収入合計額	181,412,000	171,580,941	△5.5%	△8.4%	支出合計額	181,412,000	175,768,172	△3.1%	△11.0%

当期収入決算額 171,580,941円 － 当期支出決算額 175,768,172円 ＝ －4,187,231円

日本赤十字社富山県支部の関係組織図

令和6年4月1日現在



※富山赤十字看護専門学校は、令和3年3月31日をもって閉校となりました。

